パソコン設定ガイド

日田市情報センター

目　次

インターネットご利用の前に

ID・パスワードの管理

ID やパスワードは、お客様の大切な情報です。他人には知られないように大切に保管してください。

個人情報の取り扱いに注意

本名、住所、電話番号、メールアドレスなど、自分や他人の個人情報はインターネットの掲示板等に不用意に書き込まないようにしましょう。また、ショッピングサイトなどでクレジット番号等プライバシーに関わる情報を入力する際は、くれぐれもご注意ください。

コンピュータウィルスに注意

コンピュータウィルスとは、人の手によって作られた不正なプログラムです。コンピュータウィルスに感染すると、パソコンが動かなくなる、大切なデータが盗まれるなど被害が考えられます。また、自分のパソコンがウィルスに感染したのに対策をとらず、他人のパソコンに感染を広げてしまった場合、賠償の責任を負う可能性があります。

対策１：ウィルス駆除ソフトウェアを使って、ウィルスの駆除または感染を未然に防ぎましょう。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、ウィルス対策ソフトウェアのインストールをお勧めします。また、日々新しいウィルスが発見されていますので、定期的にウィルス駆除のチェックファイルを更新してください。

対策２：メールの添付ファイルや、知らない宛先から来たメールをむやみに開かないようにしましょう。怪しいホームページからソフトウェア等のデータをダウンロードする際もご注意ください。

対策３：ブラウザ、メールソフトなどは、セキュリティ強化のためにアップデートが行われています。提供者のホームページなどをチェックしてアップデートすることをお勧めします。

光インドアケーブルの取り扱いに注意

屋外から宅内の T-ONU を繋ぐケーブルは、光ケーブルです。曲げたり折ったりすると、破損する恐れがありますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

光インドアケーブル

T－ONU

設定前に必要なもの

- 登録証

様

平成２２年　月　日

日田市光ネットワーク通信設定登録証

この度は、インターネットサービスにお申込みいただき、大変ありがとうございます。お申込みいただいた登録内容を下記のとおり通知いたします。ご確認ください。
また、本登録証に記載されている内容は、インターネットメール設定の際に必要となる大切な情報です。パスワード等は、他人に知られないよう大切に保管してください。

記

加入者番号　：　１２３４

電子メールアドレス	○○○○○○@hita-net.jp
ユーザー名（アカウント名）	○○○○○○
パスワード	＊＊＊＊＊＊
受信メールサーバーの種類（アカウントの種類）	POP3
受信サーバー	pop.hita-net.jp
送信サーバー	smtp.hita-net.jp

＊＊＊＊＊＊＊＊　本登録証は、大切に保管してください　＊＊＊＊＊＊＊＊

インターネットに関するお問い合わせ
27−5001
KCV コミュニケーションズ(株)
（ 日田市役所担当：情報課地域情報係　22-8229 ）

※
インターネットメールの設定をする際に必要となります。

- ご自身がお使いのパソコン

- LAN ケーブル

※
パソコンと VoIP-TA を接続する際に必要となります。

ＶｏＩＰ－ＴＡとパソコンの接続について

①ＬＡＮケーブル、電話回線ケーブル、アース線を取り付けます。

ＬＡＮケーブル（添付品）

Ｔ－ＯＮＵ

WANポート

ＬＡＮケーブル

パソコン

PCポート

VoIP-TA本体、パソコンともに電源を切った状態で取り付けてください。

電話回線ポート

電話機ポート

電話回線ケーブル

電話回線

イニシャルスイッチ
（未使用）

電話回線ケーブル（添付品）

電話機

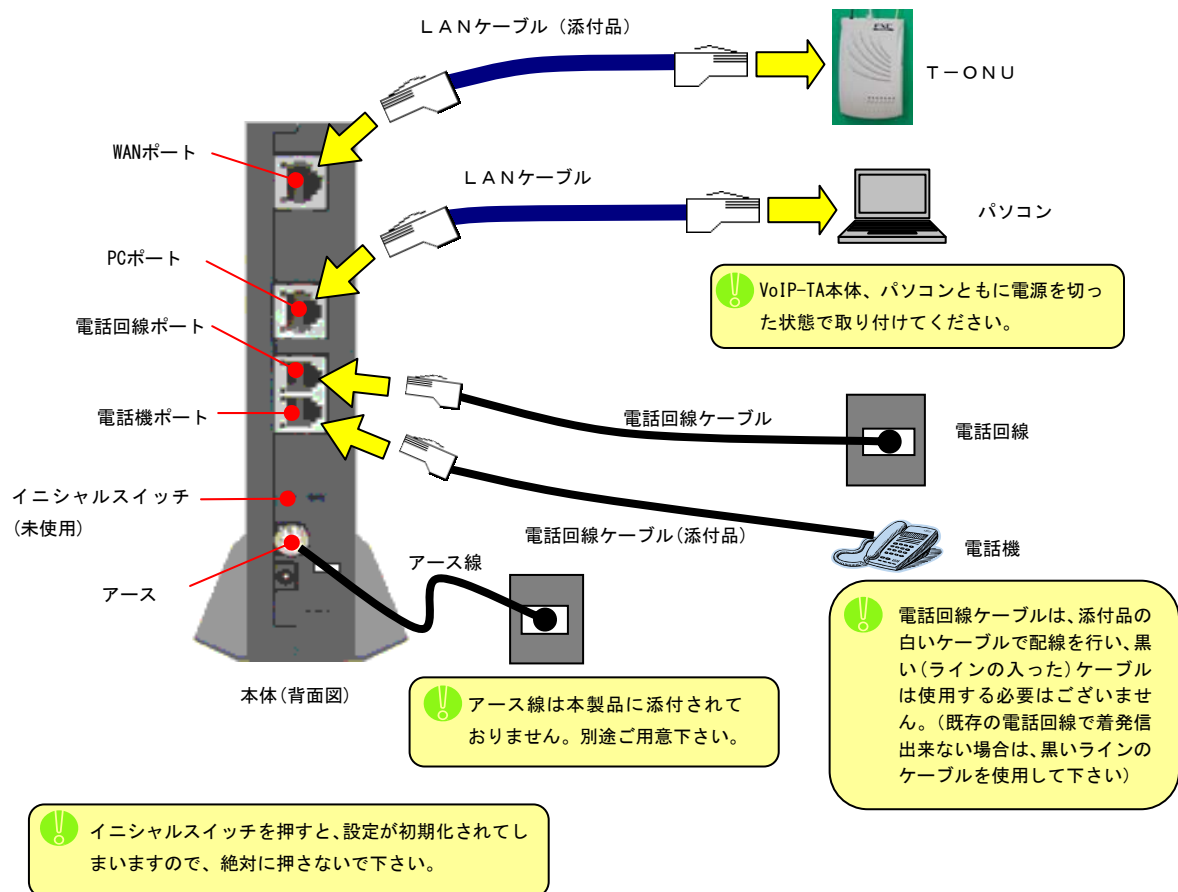
アース線

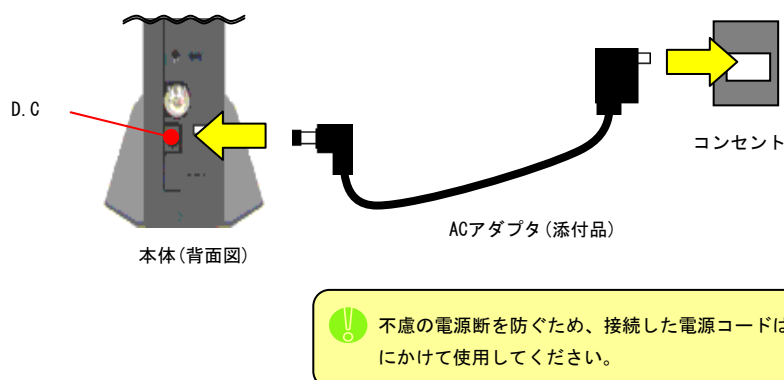
アース

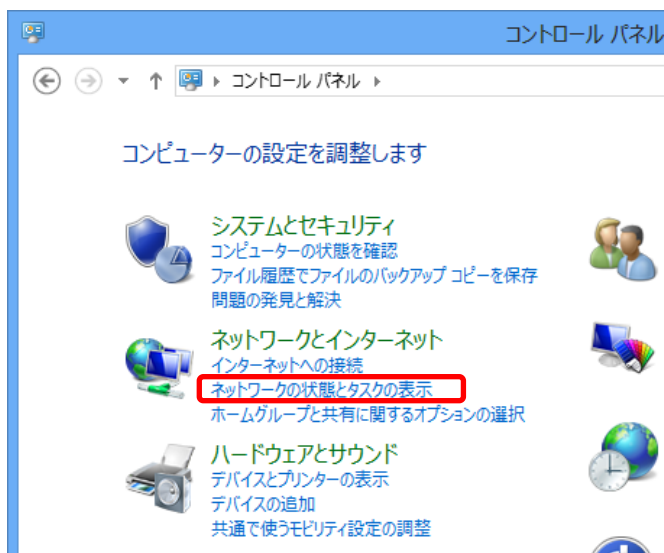
電話回線ケーブルは、添付品の白いケーブルで配線を行い、黒い（ラインの入った）ケーブルは使用する必要はございません。（既存の電話回線で着発信出来ない場合は、黒いラインのケーブルを使用して下さい）

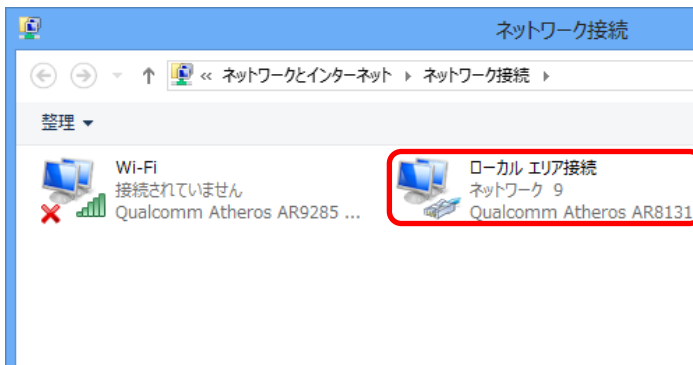
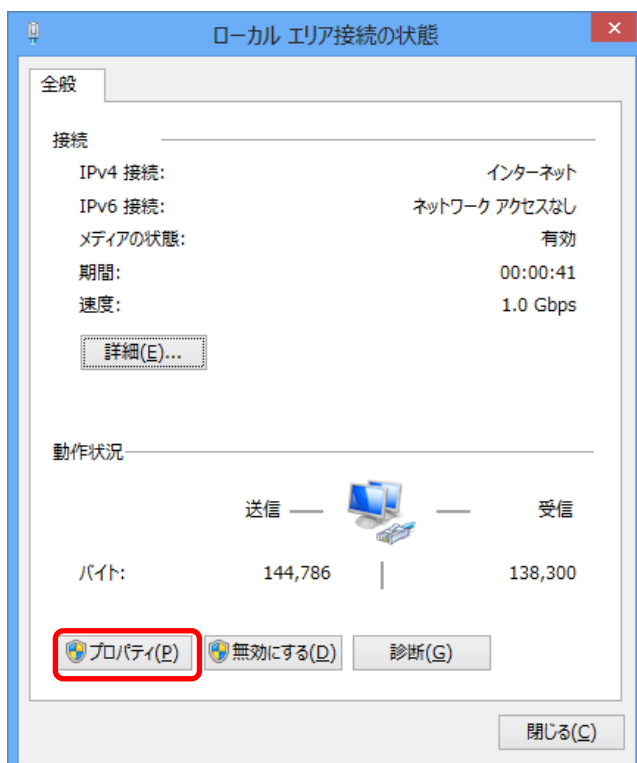
本体（背面図）

アース線は本製品に添付されておりません。別途ご用意下さい。

イニシャルスイッチを押すと、設定が初期化されてしまいますので、絶対に押さないで下さい。

②電源ジャックを接続し、本製品の電源を投入します。

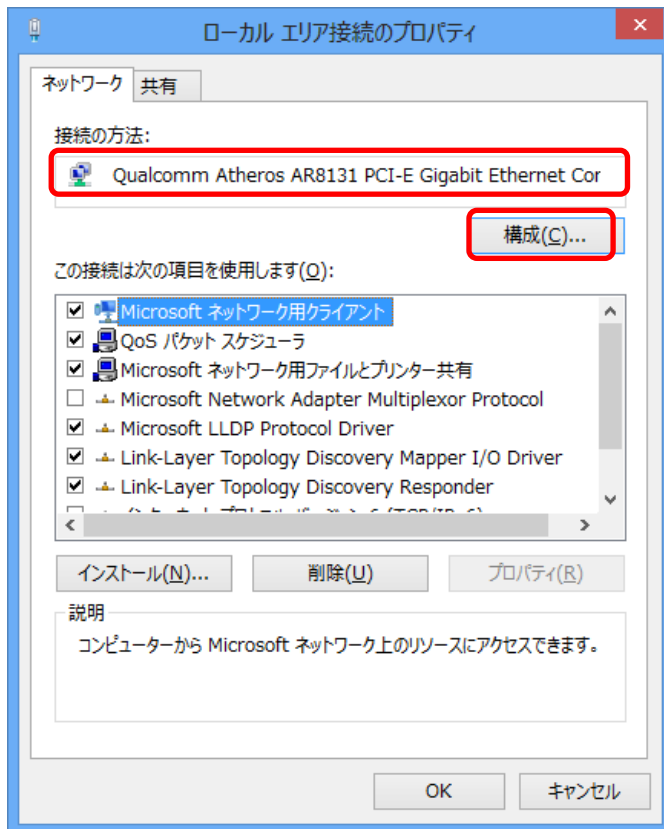
<Windows® 8 インターネット接続手順>

・事前にAdministrator権限のあるユーザーアカウントでログオンして下さい。
・本説明の画面は、Windows® 8 のカテゴリ表示のものです。
　表示の切替については、お使いのパソコンの取扱説明書をお読みください。

① “スタート” 画面の左下隅で右クリックし、コントロールパネルを選択します。

② “コントロールパネル” 画面が開いたら、ネットワークの状態とタスクの表示をクリックします。

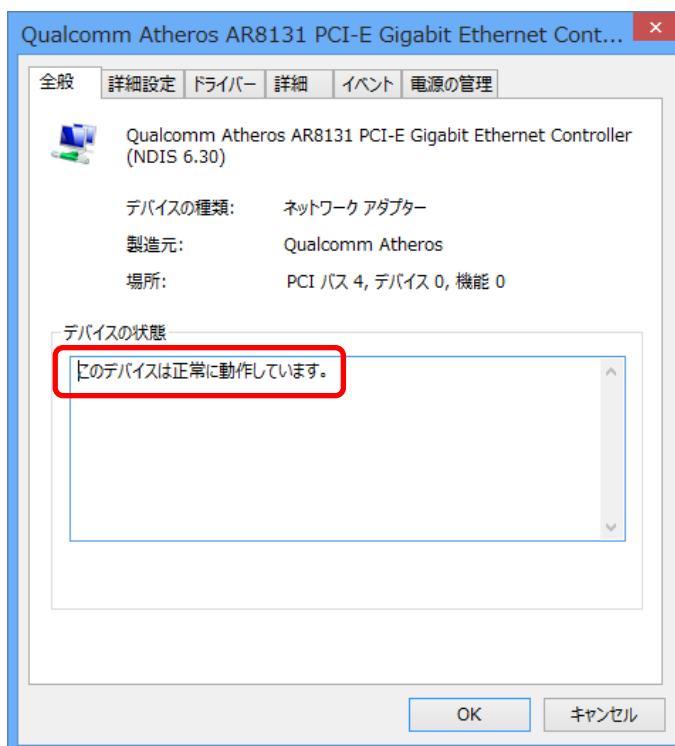
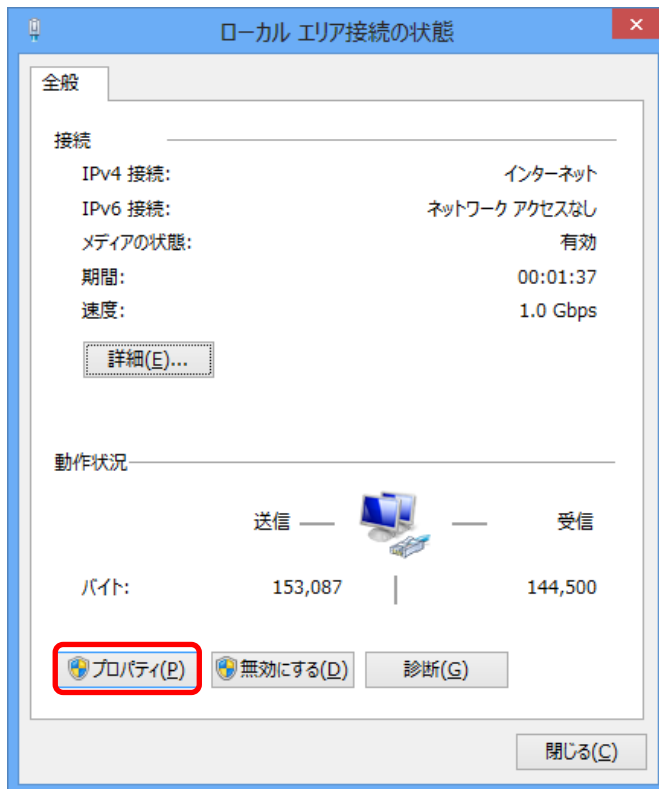
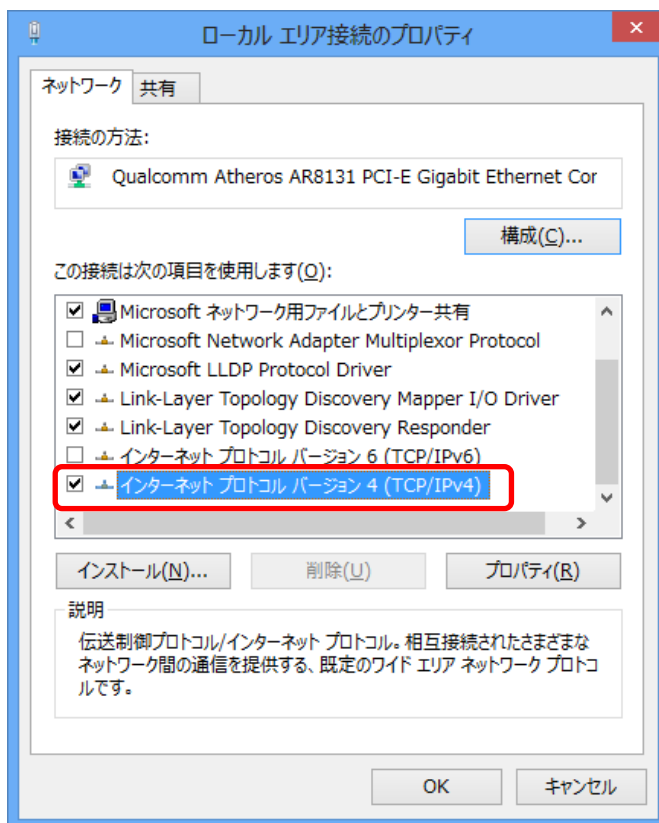
③“ネットワークと共有センター”画面が開いたら、アダプターの設定の変更をクリックします。

④左図のように、ご利用のアダプター名がついたアイコンが既に存在する場合は、インターネットがご利用可能な状態になっています。ローカルエリア接続アイコン（もしくは、イーサネットアイコン）をダブルクリックします。

⑤ローカルエリアの接続状態を確認します。“ローカルエリア接続の状態”画面が開いたら、プロパティをクリックします。

⑥“ローカルエリア接続のプロパティ”画面が開きます。

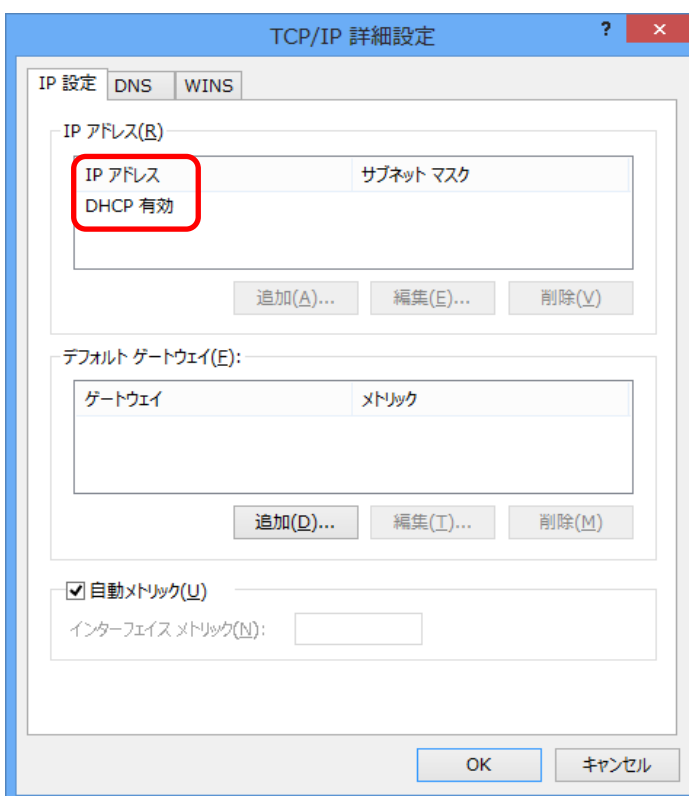
[接続の方法]欄に使用するＬＡＮアダプタが選択されていることを確認します。

次に構成をクリックします。

⑦デバイスの状態を確認します。

[デバイスの状態]欄に“このデバイスは正常に動作しています。”と表示されていることを確認します。
これ以外の表示の場合、ＬＡＮアダプタが正常に動作していない可能性があるので、パソコンメーカーにお尋ねください。

ＯＫをクリックします。

⑧ ⑤の“ローカルエリア接続の状態”画面に戻りますので、再度プロパティをクリックします。

⑨“ローカルエリア接続のプロパティ”画面が開いたら、[この接続は次の項目を使用します]欄の中の“インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)”を選択した状態で、プロパティをクリックします。

⑩“インターネットプロトコルバージョン４(TCP/IPv4)のプロパティ”画面が開いたら[IPアドレスを自動的に取得する]にチェックが入っていることを確認します。

※IP アドレス欄に数値が入っている場合、念のためにメモした上で[IP アドレスを自動的に取得する]にチェックを入れてください。

次に、[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する]にチェックが入っていることを確認して、詳細設定をクリックします。

⑪“TCP/IP 詳細設定”画面が開いら、[IP アドレス]欄に“DHCP 有効”と表示されていることを確認します。

⑫次に[DNS]タブをクリックします。
“プライマリおよび接続専用の DNS サフィックスを追加する”と“プライマリ DNS サフィックスの親サフィックスを追加する”にチェックを入れます。

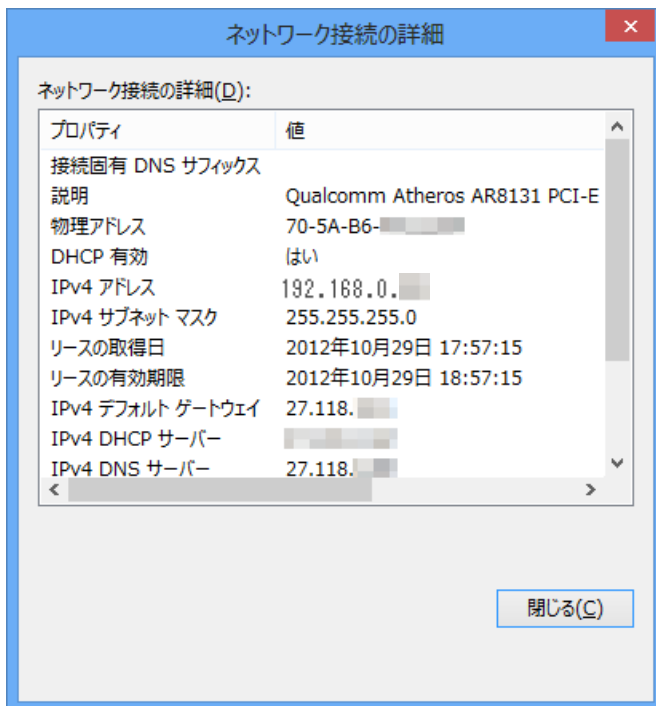
“この接続のアドレスを DNS に登録する”にチェックがないことを確認したら、OKをクリックします。

“TCP/IP のプロパティ”画面に戻るので、OKをクリックし、すべてのウィンドウを閉じるもしくは×で閉じてください。

以上で設定は完了です。

※正常に接続ができているか確認する

⑬ ⑤の“ローカルエリア接続の状態”画面で、詳細をクリックします。

【Windows 8 インターネット接続手順】

⑭ “ネットワーク接続の詳細”画面が開きます。
IP アドレスの取得状況が表示されます。
・“DHCP 有効”…はい
・IPv4 IP アドレス…192.168.0.*
になっていますか？
・IPv4 サブネットマスク…255.255.255.0
になっていれば正常な通信状態です。
正常に取得できていれば、閉じるをクリックして終了します。

※IPv4 IP アドレスが 169.や 0.0.0.0 のときは IP アドレスが取得できていない状態ですので、⑬の“ローカルエリア接続の状態”画面の下段にある 診断 をクリックして、表示された原因を解決してみてください。

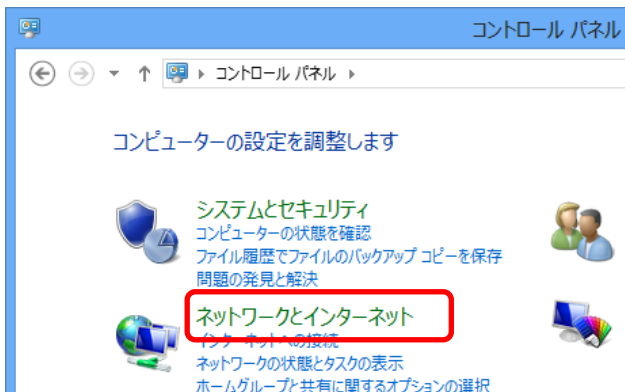
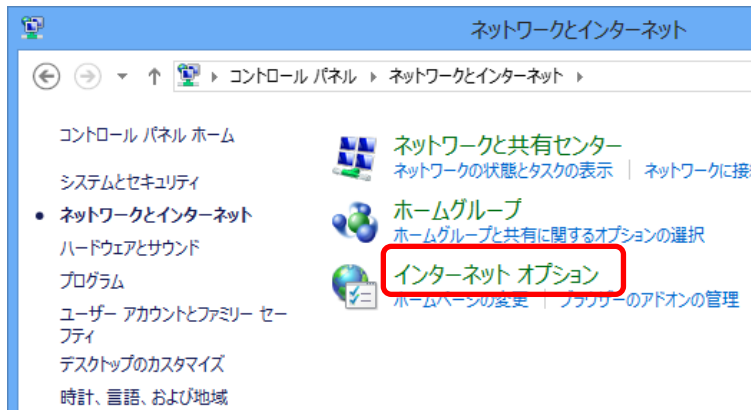
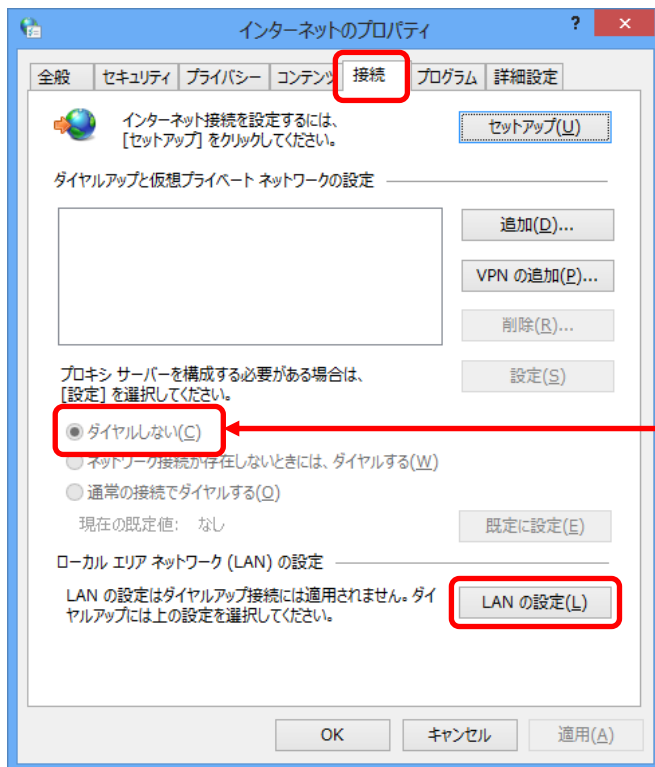
＜Windows® 8　Web ブラウザ設定手順＞

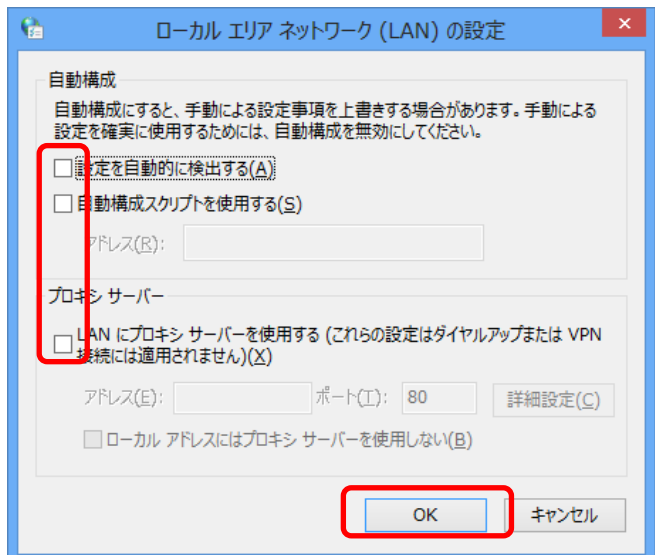
（1）Web ブラウザについて

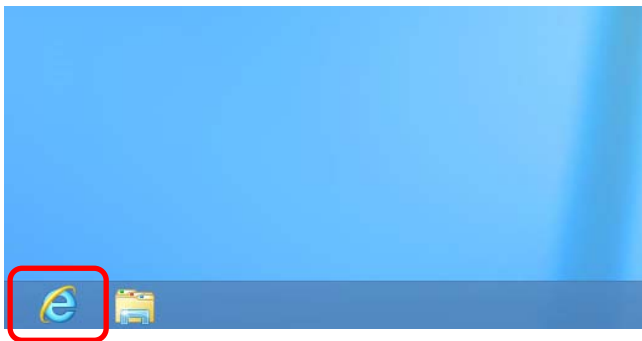
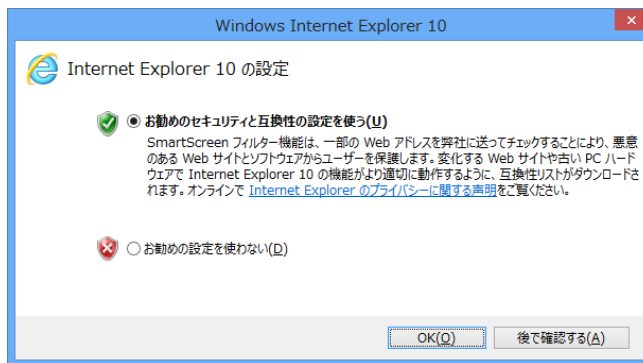
Web ブラウザはインターネット上にある様々な Web コンテンツを表示・閲覧するためのソフトウェアです。現在、インターネットで主に利用されている Web ブラウザとしては、様々なものがありますが、ここでは Microsoft Internet Explorer の設定について記述します。

（2）Internet Explore r　10 の設定

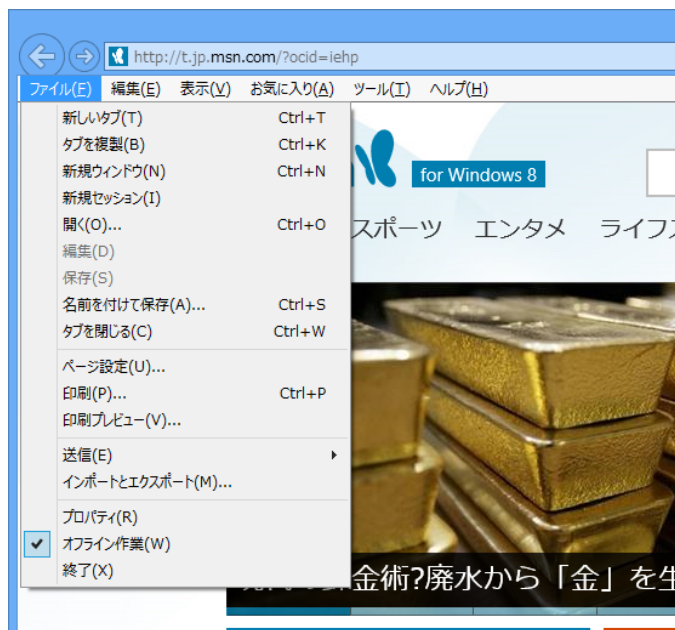
・Windows 8 ではInternet Explorer 10 が推奨環境となっております。
・IE をお使いにならない方は設定不要です。

①“スタート”画面の左下隅で右クリックし、コントロールパネルを選択します。

② “コントロールパネル”画面が開いたら、ネットワークとインターネットをクリックします。

③ “ネットワークとインターネット”画面が開いたら、インターネットオプションをクリックします。

④ [接続]タブをクリックし、LAN の設定ボタンをクリックします。

“ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定”にダイヤルアップの設定がある場合は、[ダイヤルしない]を選択してください。

⑤ [ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定]画面が開きます。
全てにチェックが入っていないことを確認したら、OK ボタンをクリックします。

⑥ “デスクトップ”画面左下にある Internet Explorer のアイコンをクリックします。

⑦ “Windows Internet Explorer 10 の設定”画面が表示されます。
「お勧めのセキュリティと互換性の設定使う」、または「お勧めの設定を使わない」を選択し、OK をクリックします。

※よくわからない場合は、「お勧めのセキュリティと互換性の設定を使う」を選択してください。

⑧ ホームページが表示されます。
以上で設定は終了です。

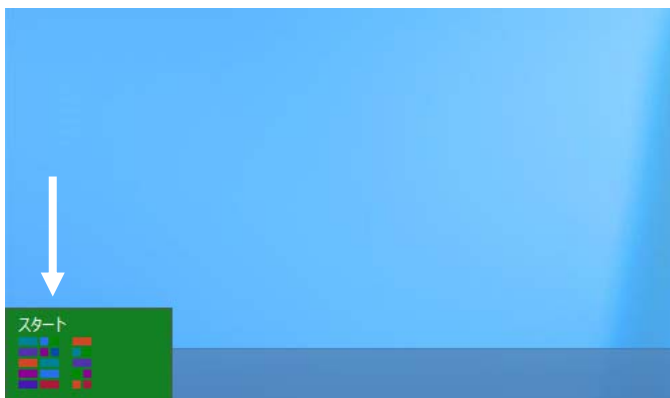
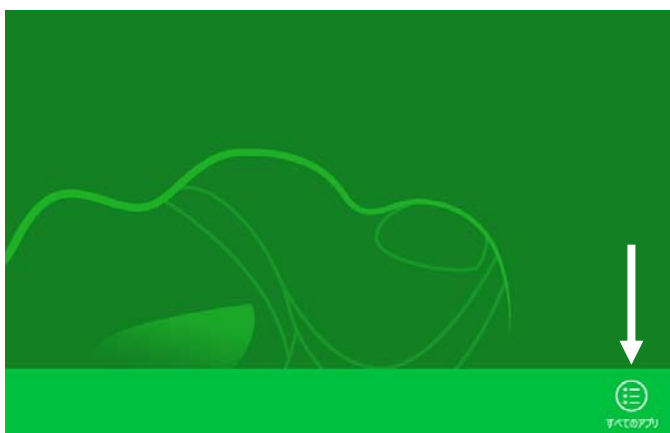
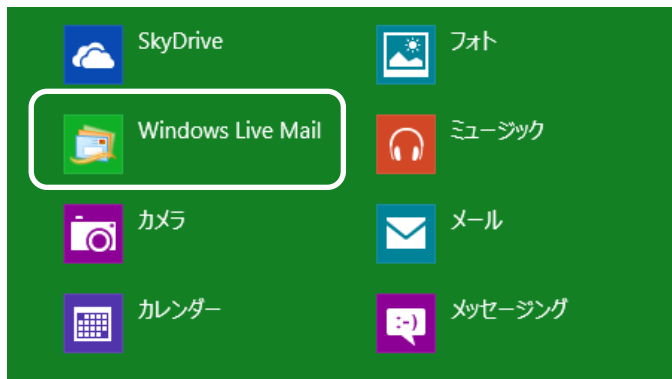
※ もし、オフラインで表示されない場合は…

[ファイル]をクリックして、[**オフライン作業**]にチェックが入っていないか確認します。
入っている場合は**チェックを外します**。

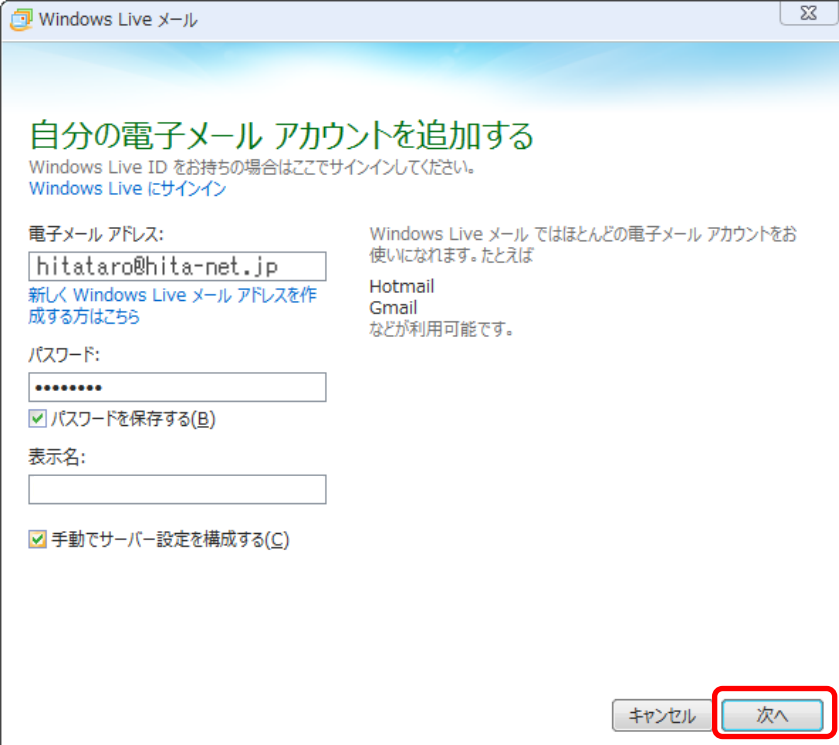
※[ファイル]などのメニューが表示されない場合は、Alt キーを押してください。

再度、Internet Explorer を起動して、サイトが表示されるか確認してください。

＜Windows® 8　メール設定手順＞

・ Windows® 8 には、メールクライアントソフトがインストールされていないことがあります。メールソフトがインストールされていない場合は、まずインストールを行って以下の作業をしてください。
・ インターネット接続設定が完了した後にメールの設定をしてください。
・ ここでは、「Windows Live メール 2012」の設定を紹介しています。
・ 既に“スタート”画面にWindows Live Mail タイルが表示されている場合、手順⑥から設定を開始してください。

（1） Windows Live メール 2012 でのメールアドレスの設定

① “デスクトップ”画面左隅にカーソルを移動し、表示されるスタートをクリックするか、Windows キーを押して、“スタート”画面へ戻ります。

② “スタート”画面のタイルのないスペースで右クリックし、画面右下に表示されるすべてのアプリを選択します。

③ “アプリ”画面が表示されたら、登録されているアプリの中から Windows Live Mail を探します。

④ Windows Live Mail タイルの上で右クリックし、画面左下に表示されるスタート画面にピン留めするを選択します。

⑤ “スタート”画面に Windows Live Mail タイルが表示されたことを確認します。

Windows Live Mail タイルをクリックして、設定を開始します。

⑥ “自分の電子メール アカウントを追加する”画面が表示されます。
※ この画面が表示されない場合は、（2） Windows Live メール 2012 の設定確認の手順 1～②を参照し、②の画面で[電子メール]ボタン をクリックしてください。

［電子メールアドレス］

“登録証”に記載されたメールアドレスを入力します。尚、メールアドレスは、すべて半角文字で入力してください。

［パスワード］

“登録証”に記載されたパスワードを入力します。
通信設定登録証のフリガナを読んで間違えないように入力してください。

［パスワードを保存する］

チェックが外れている場合は、チェックを入れてください。

［表示名］

ご自分の名前を入力。
相手がお客様からのメールを受信した際に送信者欄に表示されます。

［手動でサーバー設定を構成する］

チェックを入れてください。

全ての入力と確認が終わったら、次へをクリックしてください。

⑦ “サーバー設定を構成”画面が表示されます。

［受信サーバーの種類］

“POP3”になっていることを確認します。

［受信サーバーのアドレス］

“登録証”で受信サーバー欄に記載された受信サーバーを入力します。

（すべて半角小文字で入力してください）

［次を使用して認証する］

“クリア テキスト”になっていることを確認します。

［ログオン ユーザー名］

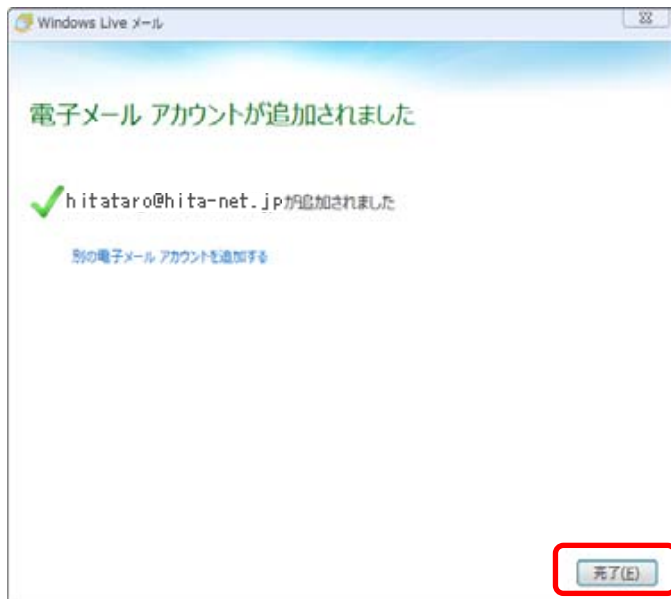
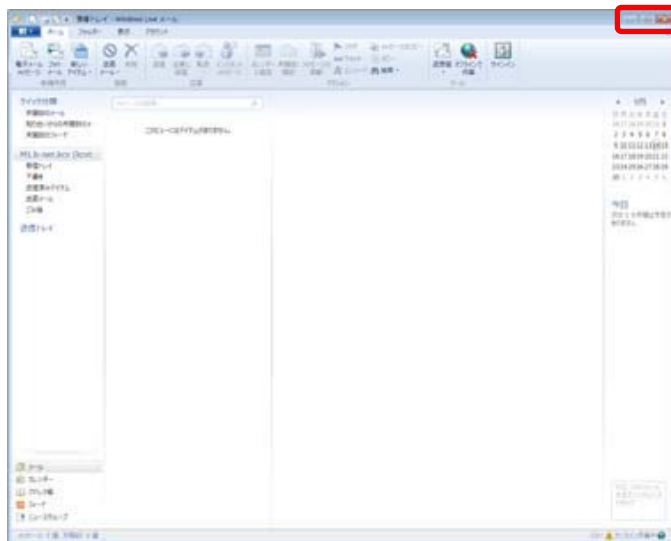
“登録証”でアカウント名欄に記載されたアカウント名を入力します。

［送信サーバーのアドレス］

“登録証”で送信サーバー欄に記載された送信サーバーを入力します。

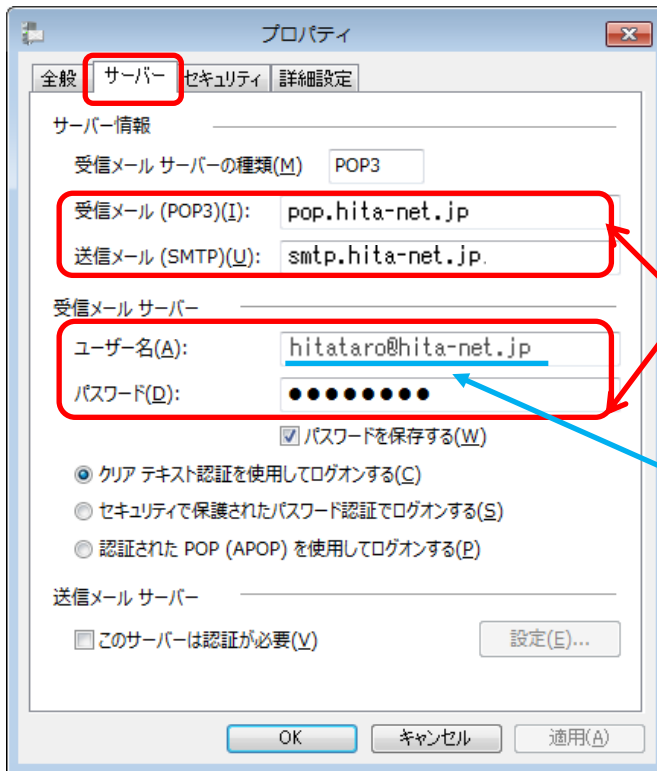
（すべて半角小文字で入力してください）

※［セキュリティで保護された接続（SSL）が必要］［認証が必要］にチェックを入れないでください

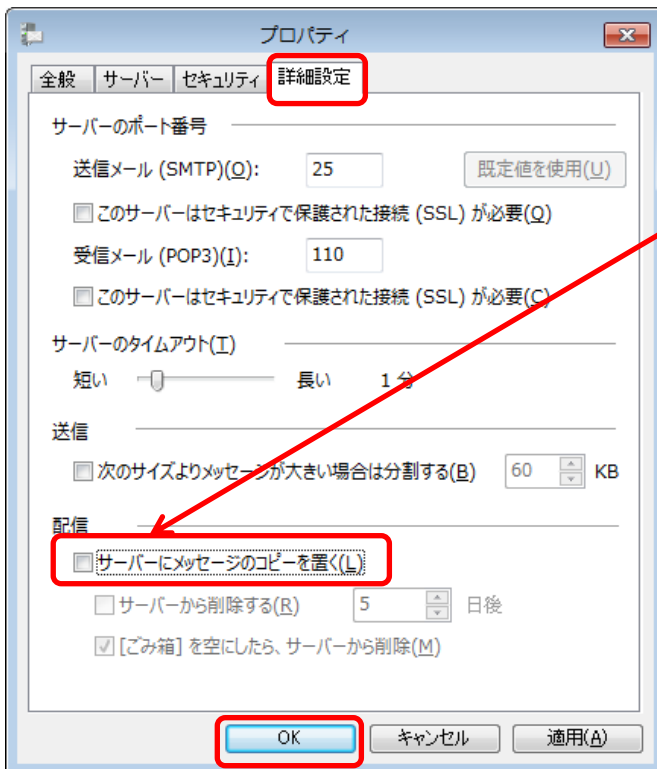
全ての入力と確認が終わったら、次へをクリックしてください。

⑧ 必要な情報の入力が完了しましたので、完了ボタンをクリックしてください。

⑨ Windows Live メール 2012 が起動します。

以上で設定は完了です。
画面右上の×ボタンをクリックして、Windows Live メール 2012 を終了してください。

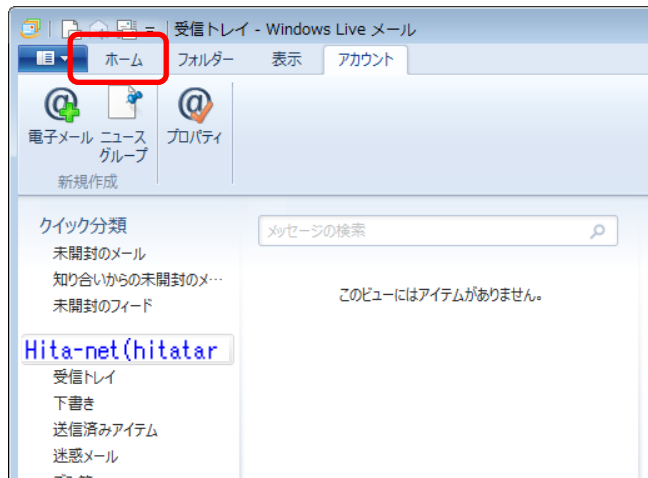
<u>（次ページ以降の設定は不要です）</u>

[ご注意下さい！！]
お客様のメール保存領域は、初期値として 30MB のディスク容量をご用意しております。
（一度に送受信できるメール容量は 10MB 以内です）
メールソフトの設定で“メッセージをサーバーに残す”と設定された場合、受信したメッセージはサーバ内に保存されますが、30MB 以上は保存できません。
保存データが 30MB に達した場合、以降は新しいメッセージを受信できなくなります。
メッセージの保存に関する設定は、次の“Windows Live メール 2012 の設定確認”をご参照ください。

④ 次に[サーバー]タブをクリックします。

半角英数小文字で正確に入力しているか確認してください。
特に “.（ドット）” を “,（カンマ）” と間違えないようにしてください。

※KCV 注
ユーザー名は xxxxxx@hita-net.jp ではなく、アカウント名（xxxxxx の部分のみ）を入力してください

⑤ 次に[詳細設定]タブをクリックし、「配信」欄の「サーバーにメッセージのコピーを置く」の□に**チェックが入っていない**ことを確認してください。
（チェックをしない！）

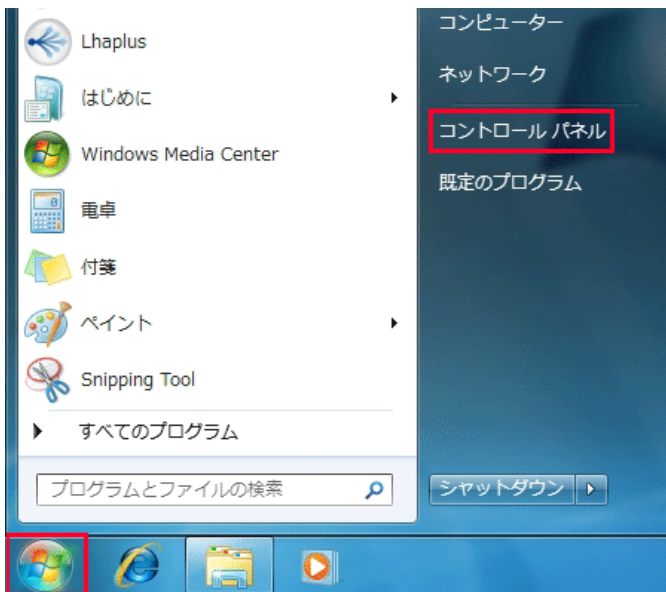
※ここにチェックが入っていると、保存データがメールサーバー容量（30MB）を越えた場合、保存できずメールの受信ができなくなりますので注意してください。

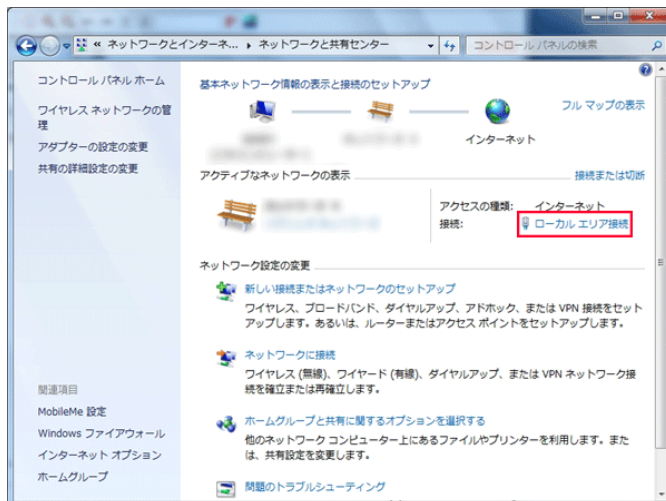
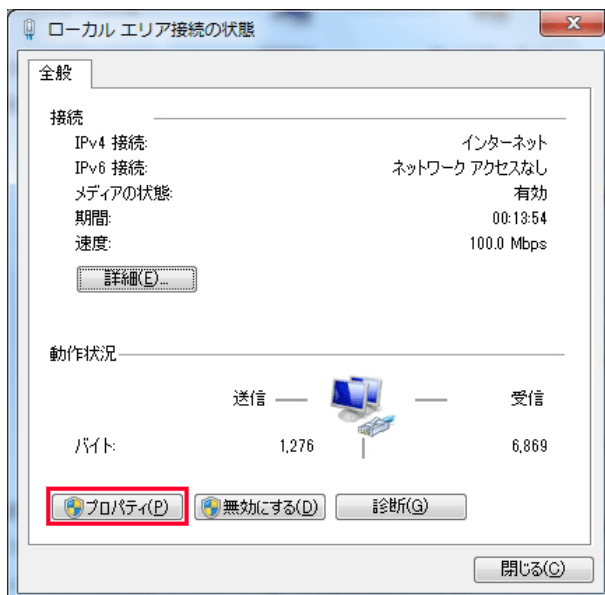
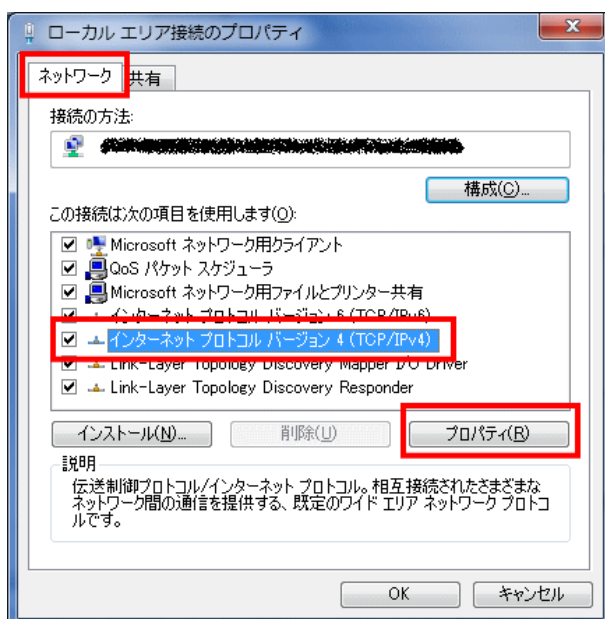
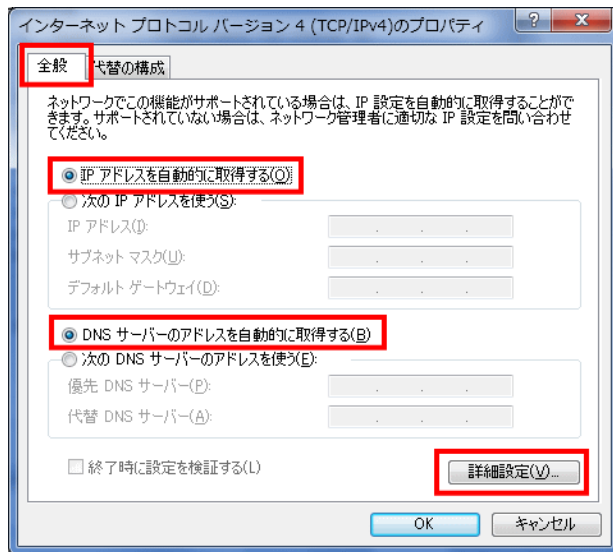
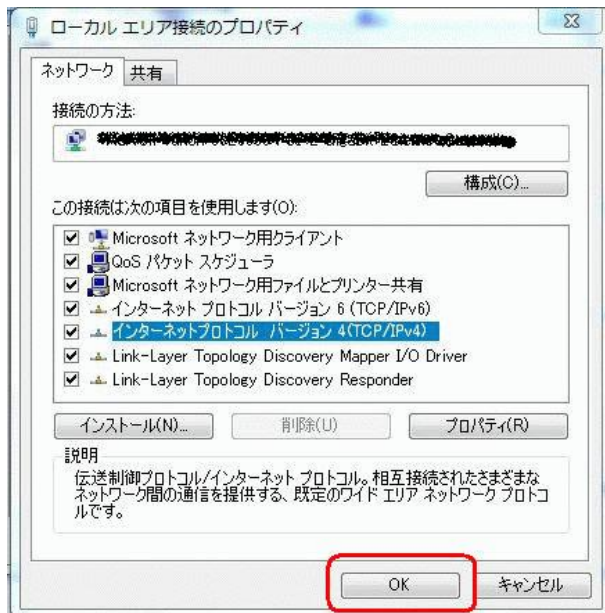
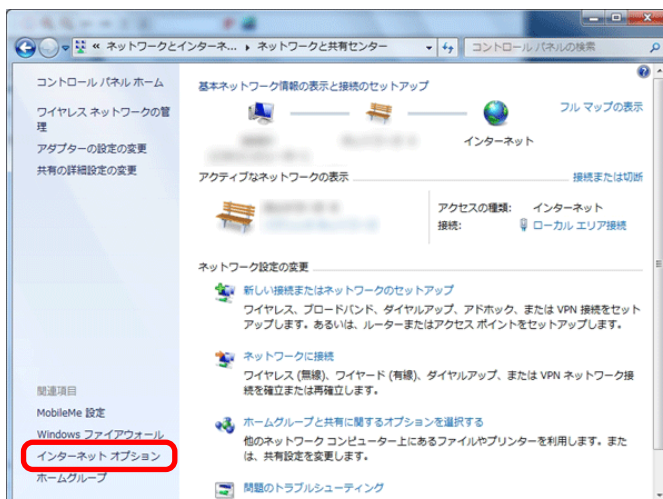
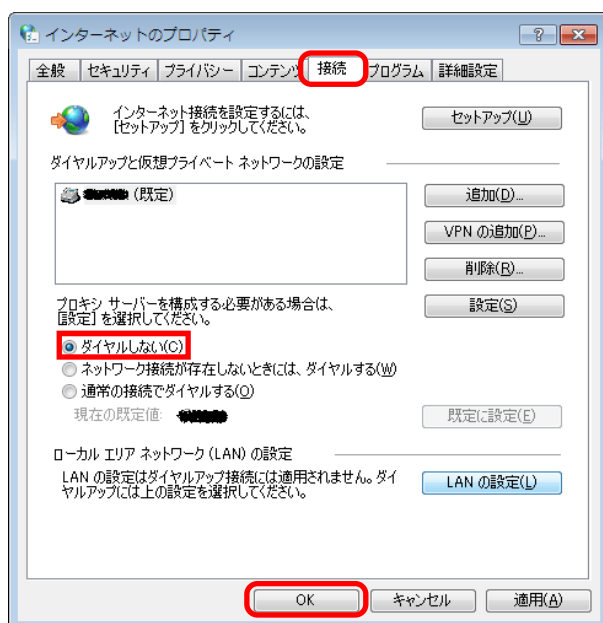
確認が済んだら OK ボタンをクリックします。

⑥［アカウント］画面に戻った後、［ホーム］をクリックします。

⑦ 画面右上の［閉じる］ボタンをクリックして終了します。

以上で設定確認は終了です。

＜Windows® 7 インターネット接続手順＞

・事前にAdministrator権限のあるユーザーアカウントでログオンして下さい。
・本説明の画面は、Windows® 7 のカテゴリ表示のものです。
　表示の切替については、お使いのパソコンの取扱説明書をお読みください。

①[スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

②[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

③[ローカルエリア接続]をクリックします。

④[プロパティ] を クリックします。

⑤[ネットワーク]タブで、[インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックします。

⑥[全般]タブで、[IP アドレスを自動的に取得する]と[DNS サーバのアドレスを自動的に取得する]を選択し、[OK]をクリックします。

⑦[ローカル エリア接続のプロパティ]ウィンドウに戻ります。そのまま[OK]をクリックします。

⑧[ローカルエリア接続の状態]画面を閉じ、[ネットワークと共有センター]画面にて、[関連項目]欄の [インターネットオプション] をクリックします。

⑨[接続]タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は[ダイヤルしない]を選択し、[OK]をクリックします。

以上でインターネット接続設定は完了です。

メールの設定については、次ページ以降をご覧ください。

＜Windows® 7 メール設定手順＞

- Windows® 7 には、標準でメールソフトがインストールされていません。
- メールソフトがインストールされていない場合は、まずインストールを行って以下の作業をしてください。
- インターネット接続設定が完了した後にメールの設定をしてください。
- ここでは、「Windows Live メール」の設定を紹介しています。
- 「Outlook」をご使用の場合は３７ページ以降を、「OutlookExpress」をご使用の場合は５１ページ以降を参考にしてください。

①[スタート]→[全てのプログラム]をクリックします。
[Windows Live]をクリックし、[Windows Live メール]をクリックします。

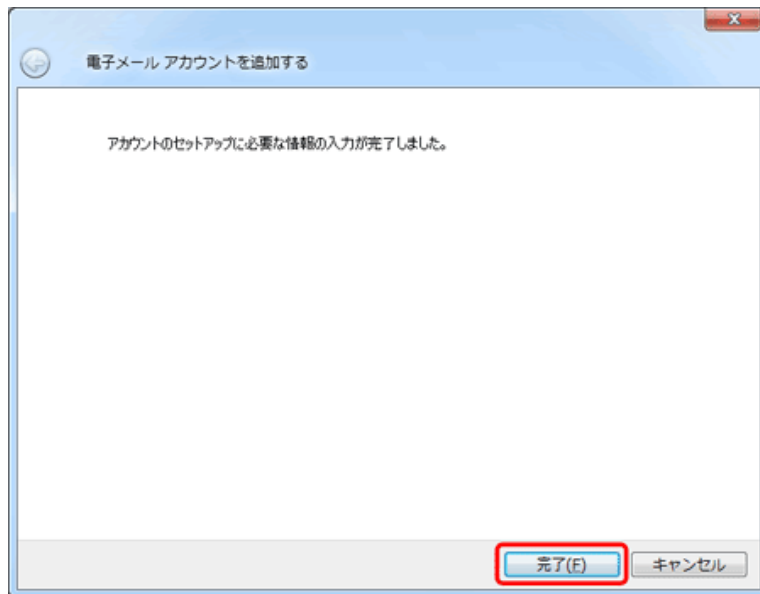
注） [Windows Live メール]がない場合は、「Windows Live メール」をインストールしたのちに、作業を行ってください。

②Windows Live メールが起動します。

※ このあと、次ページの画面が表示されず、メールソフトが起動した場合は、３０ページの手順⑥へお進みください。

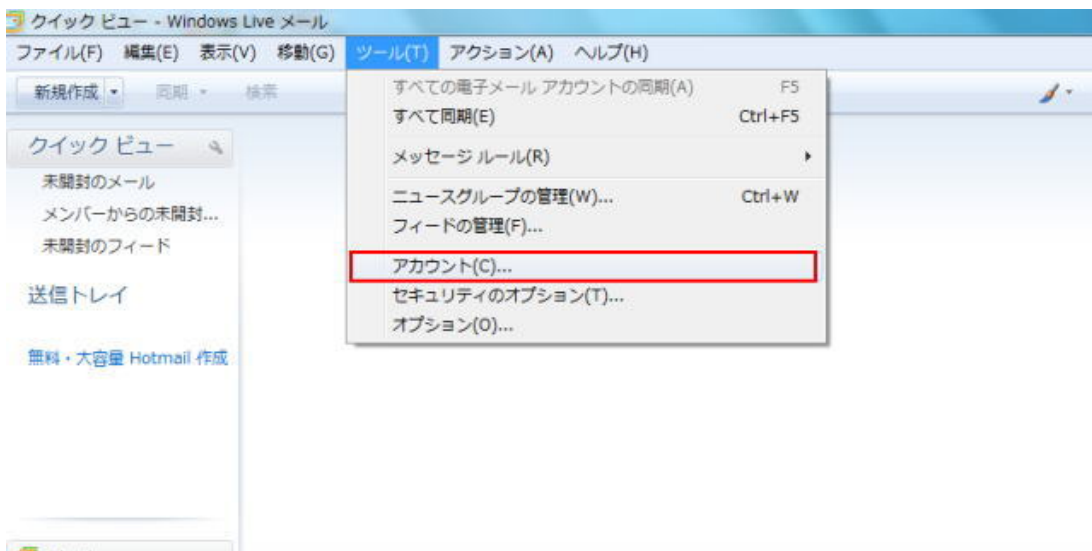
③登録証に記載された、メールアドレス、パスワードを入力します。
表示名には、名前やニックネームを入力します。表示名は、メールを送った際に相手に通知される名前です。
各項目の入力が終わったら、「電子メールアカウントのサーバー設定を手動で構成する」にチェックをして、[次へ]をクリックします。

④「受信メールサーバーの種類」で[POP3]を選択し、登録証に記載された、受信サーバー、送信サーバーを入力します。
入力が終わったら、[次へ]をクリックします。

⑤[完了]をクリックします。

以上で設定は完了です。（次ページ以降の設定は不要です）

※ 自分のメールアドレス宛にメール送信をして、メールが受信できれば OK です。

⑥最初の状態では、メニューバーが隠れているため、画面右上の
［メニュー］ボタン→［メニューバーの表示］をクリックしてください。

⑦メニューバーが表示されますので、［ツール］→［アカウント］を
クリックします。

⑧［電子メールアカウント］をクリックし、［次へ］をクリックします。

⑨登録証に記載された、メールアドレス、パスワードを入力します。
表示名には、名前やニックネームを入力します。表示名は、メールを送った際に相手に通知される名前です。
各項目の入力が終わったら、「電子メールアカウントのサーバー設定を手動で構成する」にチェックをして、[次へ]をクリックします。

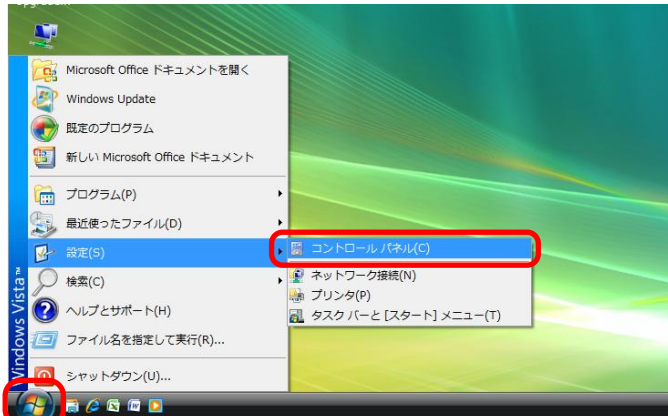
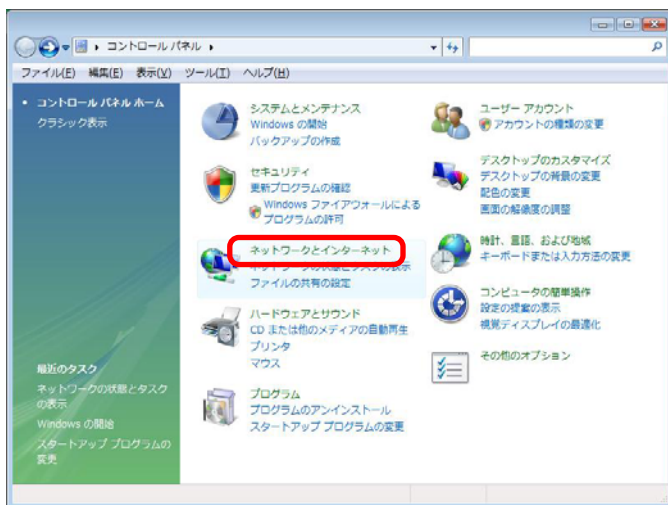
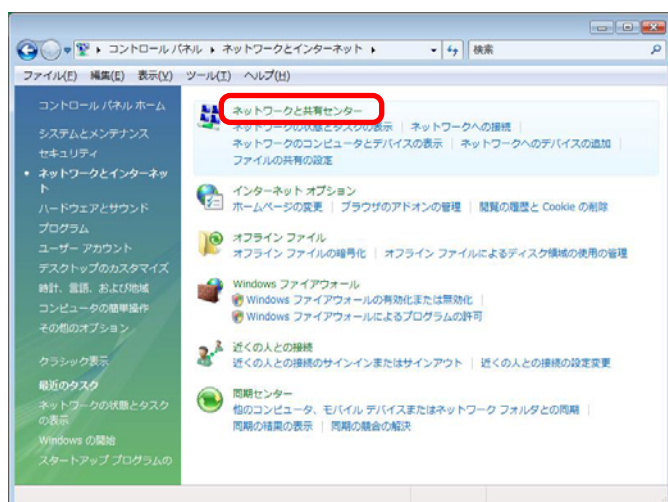
⑩「受信メールサーバーの種類」で[POP3]を選択し、登録証に記載された、受信サーバー、送信サーバーを入力します。
入力が終わったら、[次へ]をクリックします。

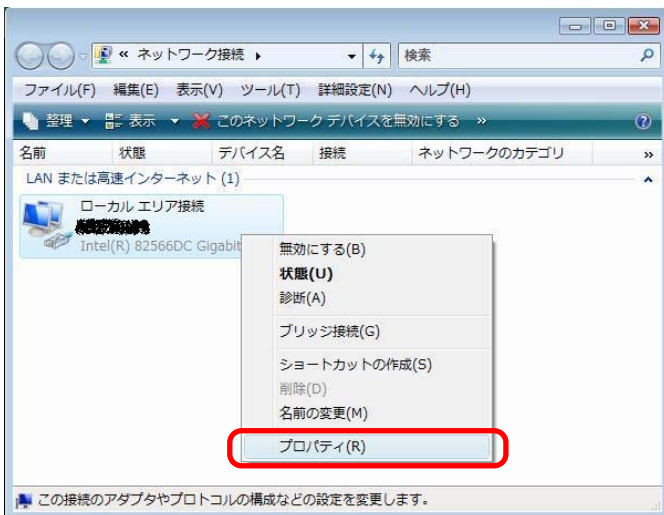
⑪[完了]をクリックします。

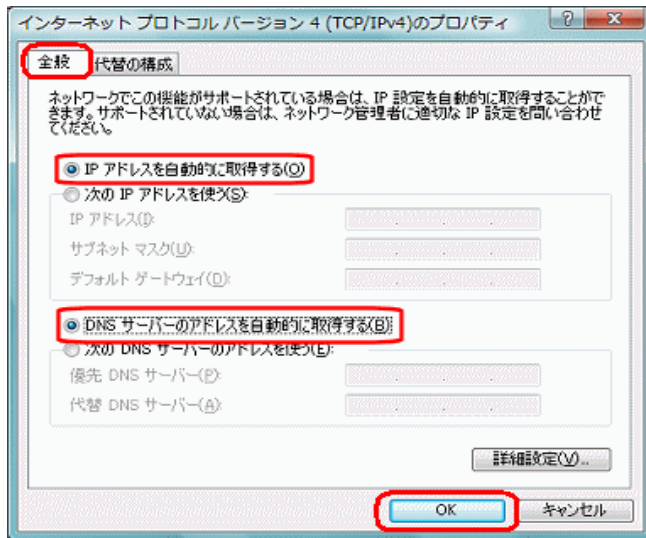
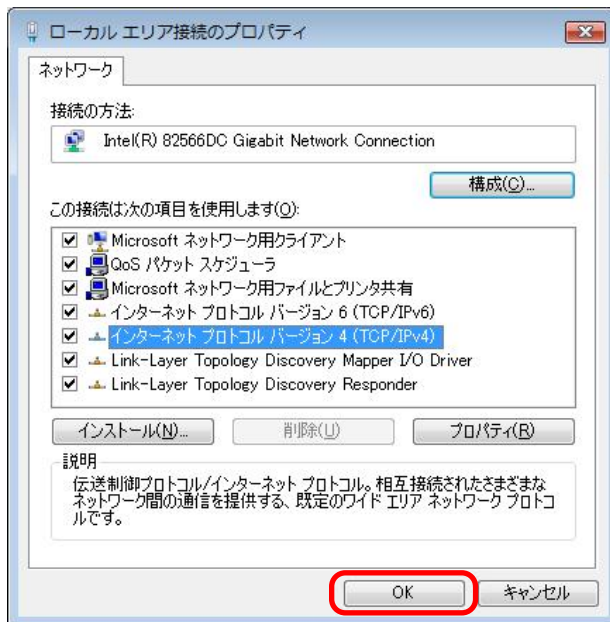
以上で設定は完了です。

※ 自分のメールアドレス宛にメール送信をして、メールが受信できれば OK です。

＜Windows® VISTA インターネット接続手順＞

・事前にAdministrator権限のあるユーザーアカウントでログオンして下さい。
・本説明の画面は、Windows® VISTAのカテゴリ表示のものです。
　表示の切替については、お使いのパソコンの取扱説明書をお読みください。

①[スタート]→[コントロールパネル]
　をクリックします。

②[ネットワークとインターネット]を
　クリックします。

③[ネットワークと共有センター]をク
　リックします。

④タスクの[ネットワーク接続の管理]をクリックします。

⑤ローカルエリア接続を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

⑥[インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックします。

⑦[全般]タブで、[IP アドレスを自動的に取得する]と[DNS サーバのアドレスを自動的に取得する]を選択し、[OK]をクリックします。

⑧[ローカル エリア接続のプロパティ]ウィンドウに戻ります。そのまま[OK]をクリックします。

⑨[ネットワーク接続の管理]画面を閉じ、[ネットワークと共有センター]画面にて、[関連項目]欄の［インターネットオプション］をクリックします。

⑩[接続]タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は[ダイヤルしない]を選択し、[OK]をクリックします。

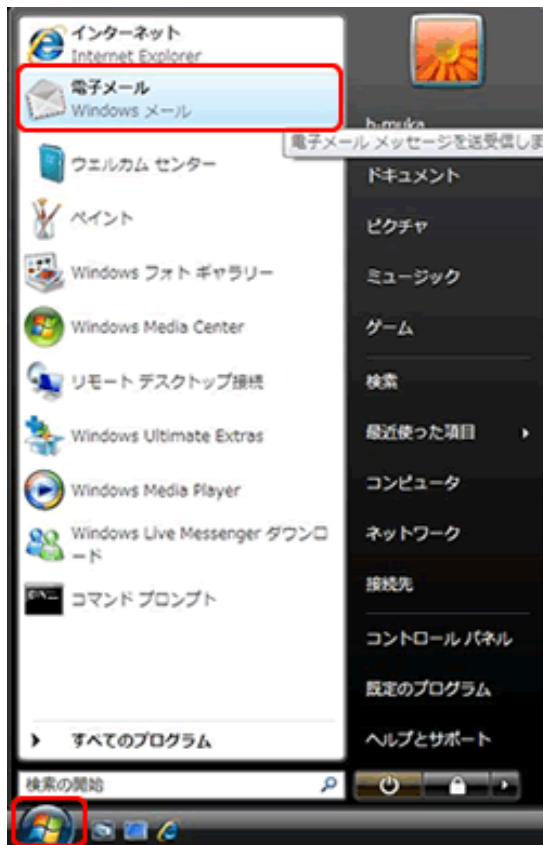
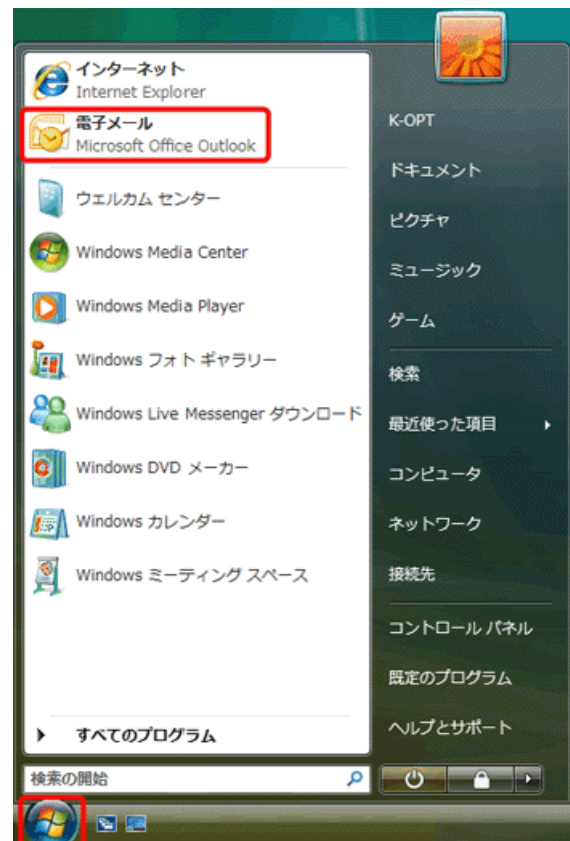
以上でインターネット接続設定は完了です。

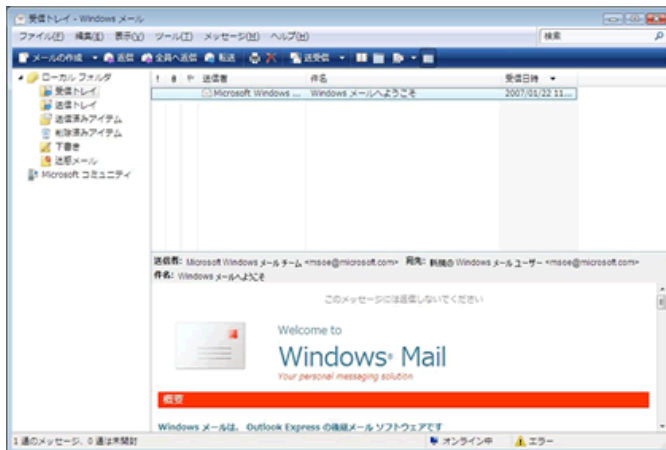
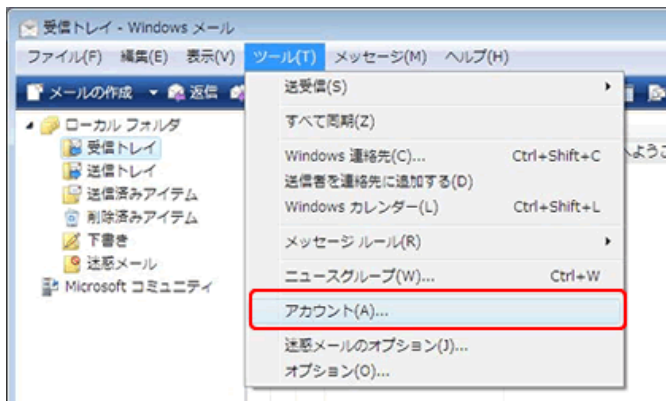
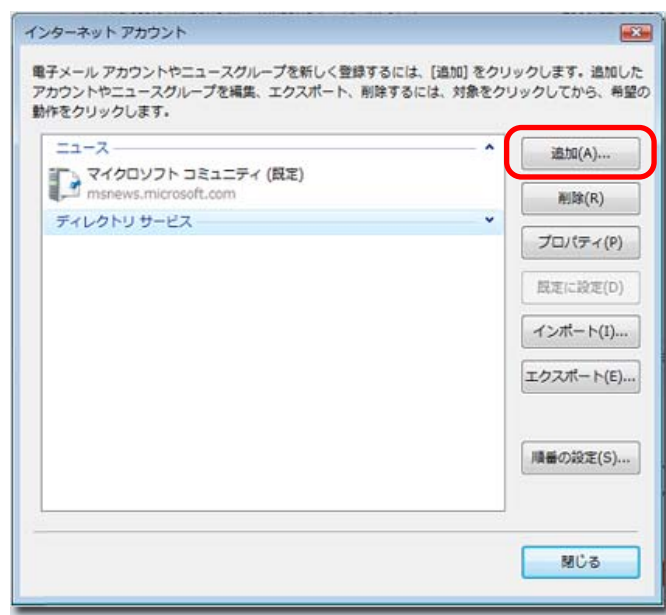
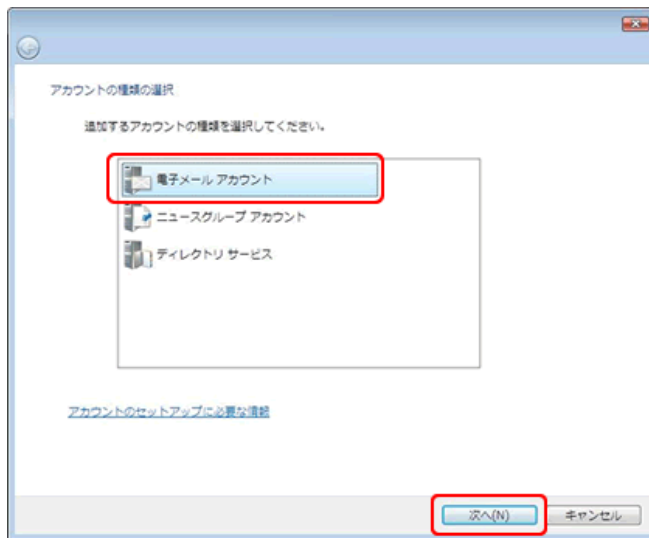
メールの設定については、次ページ以降をご覧ください。

＜Windows® VISTA メール設定手順＞

- インターネット接続設定が完了した後にメールの設定をしてください。
- ここでは、「Windows メール」と「Outlook」の設定を紹介します。
- 「Windows Live メール」をご使用の場合は２７ページ以降を、「OutlookExpress」をご使用の場合は５１ページ以降を参考にしてください

①[スタート]→[電子メール]をクリックします。

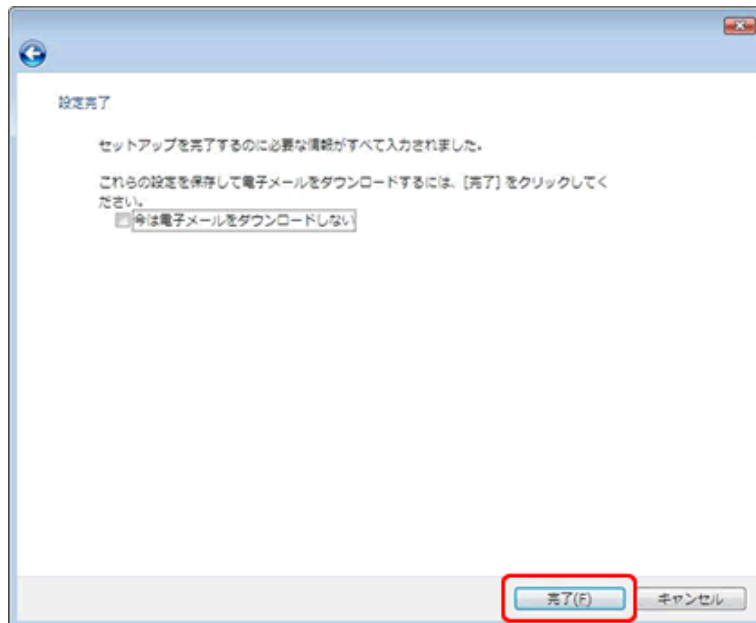
A

B

A メールソフトが「Windows メール」（上図のA）の場合は、３８ページ手順②にお進みください。

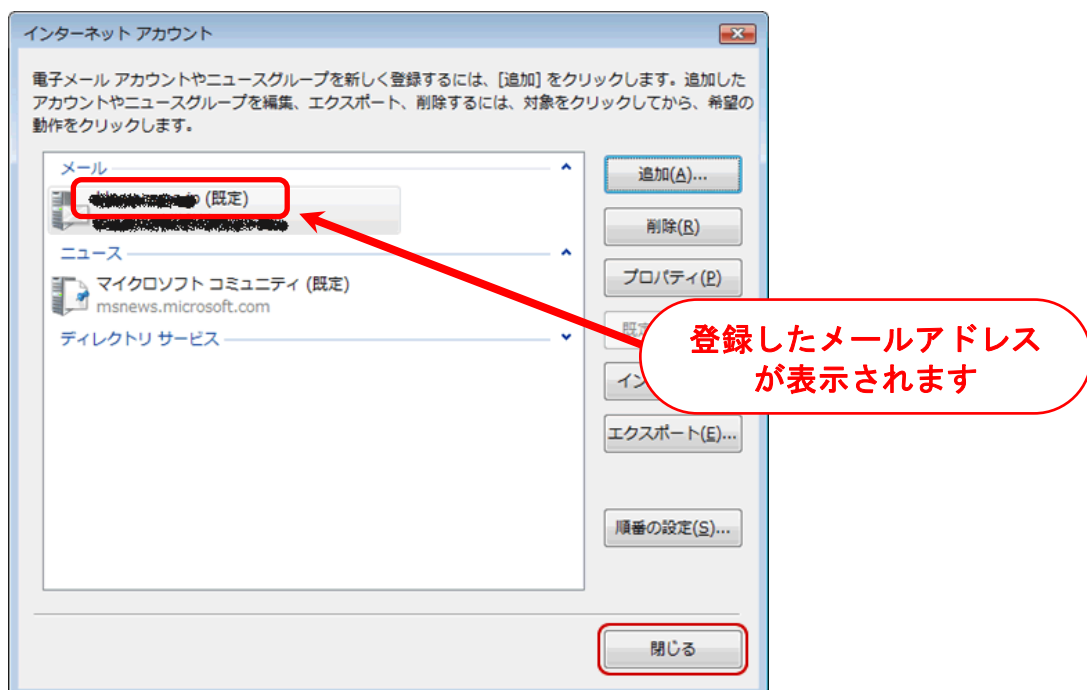
B メールソフトが「Microsoft Office Outlook」（上図のB）の場合は、４２ページ手順⑫にお進みください。

②メールソフトが起動します。

③[ツール]→[アカウント]をクリックします。

④[追加]をクリックします。

⑤[電子メールアカウント]をクリックし、[次へ]をクリックします。

⑥表示名に、名前やニックネームを入力します。表示名は、メールを送った際に相手に通知される名前です。
入力が終わったら、[次へ]をクリックします。

⑦登録証に記載された、メールアドレスを入力します。
入力が終わったら、[次へ]をクリックします。

⑧「受信メールサーバーの種類」で[POP3]を選択し、登録証に記載された、受信サーバー、送信サーバーを入力します。
入力が終わったら、[次へ]をクリックします。

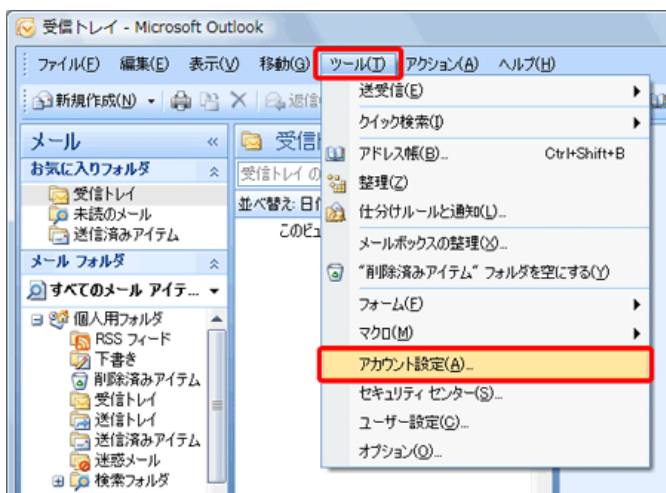
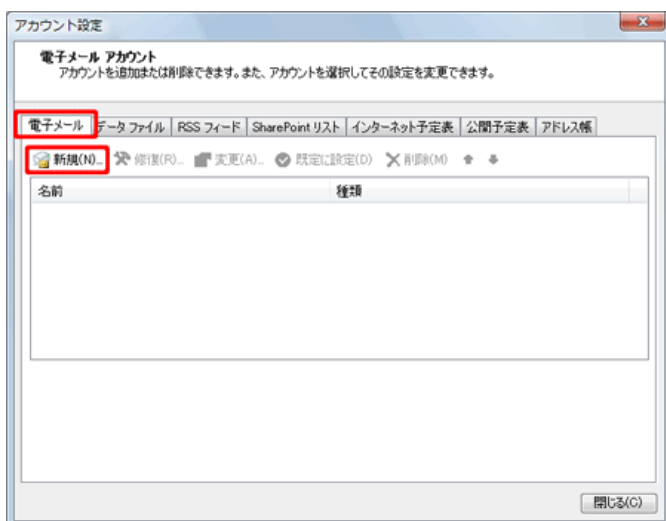
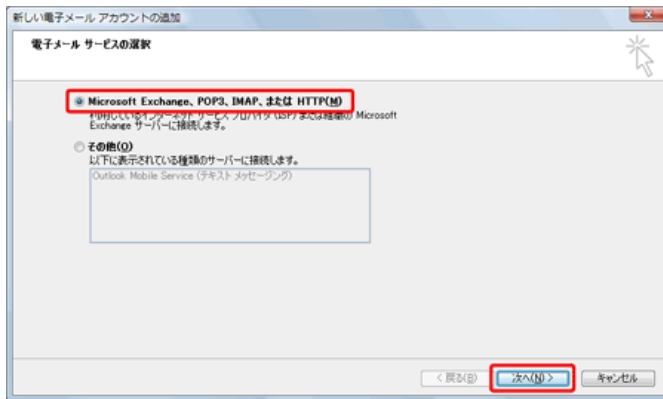
⑨登録証に記載された、ユーザー名、パスワードを入力します。
各項目の入力が終わったら、「パスワードを保存する」にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。

⑩[完了]をクリックします。

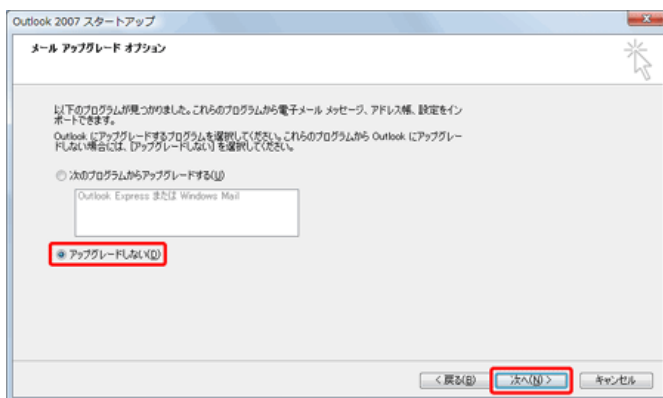
⑪[メール]の欄に、新たにメールアドレスが追加されたことを確認して、[閉じる]をクリックします。

以上で設定は完了です。（次ページ以降の設定は不要です）

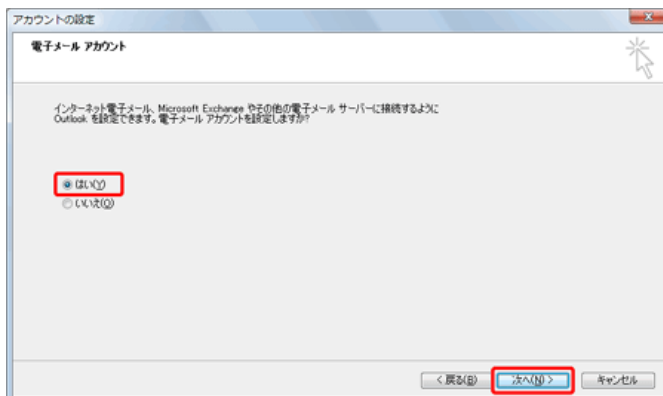
※ 自分のメールアドレス宛にメール送信をして、メールが受信できれば OK です。

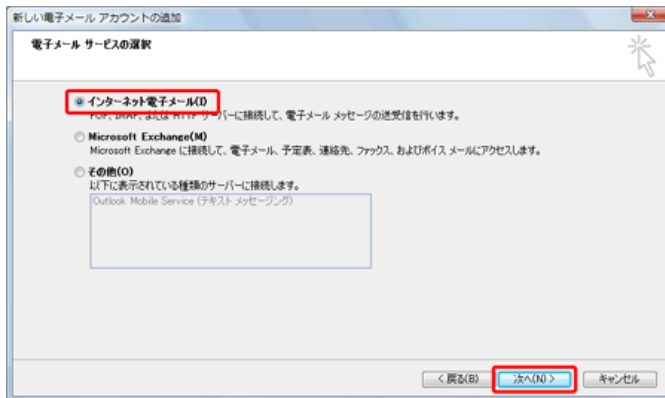
※　下のスタートアップ画面が表示されず、メールソフトが起動した場合には、
　手順⑬へお進みください。

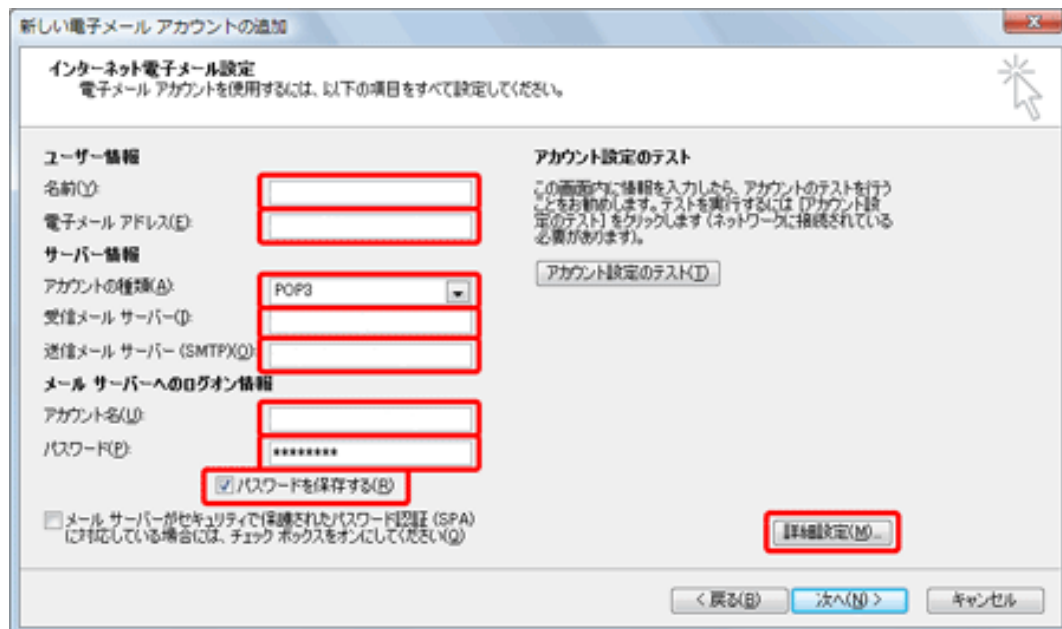
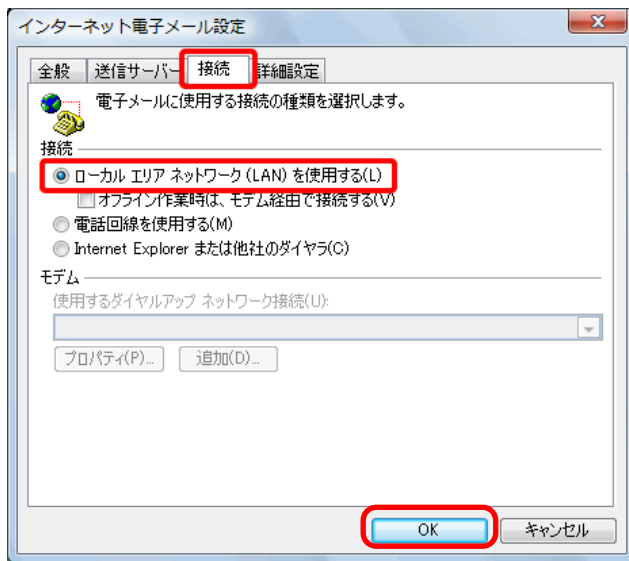
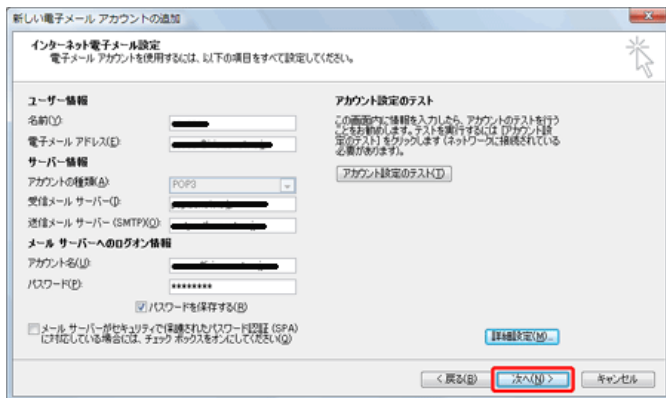
⑫[次へ]をクリックします。

手順⑮へお進みください。

⑬[ツール]→[アカウント設定]をクリックします。

⑭[電子メール]タブの[新規]をクリックします。

⑮下の画面が表示された場合は、[Microsoft Exchange、POP3、IMAP、または HTTP]にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。

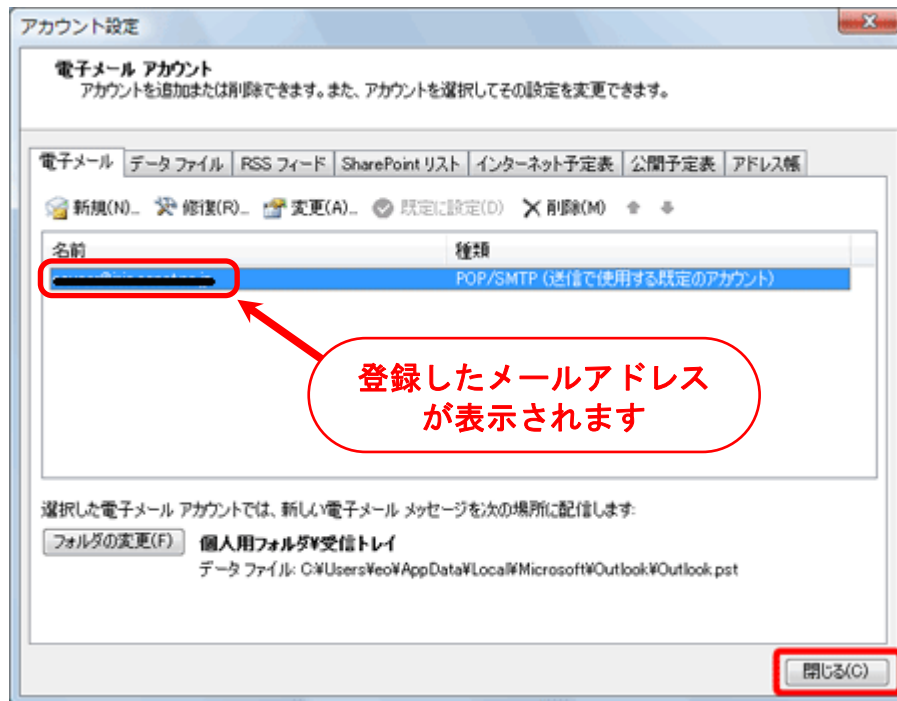
　左の画面が表示されない場合は、手順⑮へお進みください。

⑯下の画面が表示された場合は、[アップグレードしない]にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。

　左の画面が表示されない場合は、手順⑯へお進みください。

⑰[はい]にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。

⑱[サーバー設定または追加のサーバーの種類を手動で構成する]にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。

⑲[インターネット電子メール]にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。

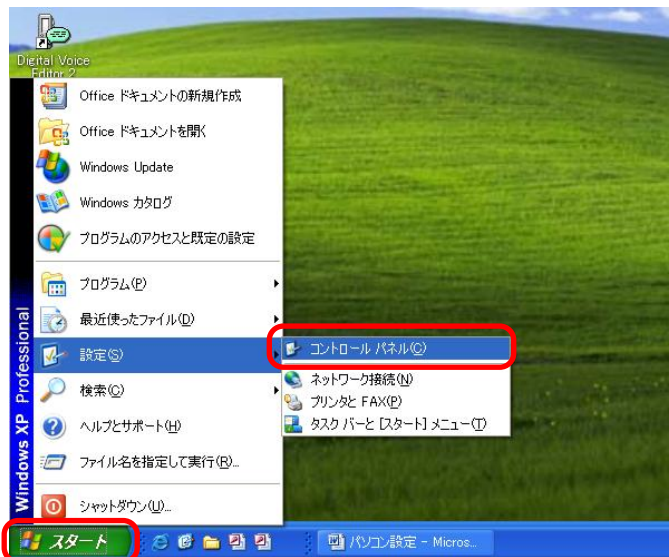
⑳名前の欄には、名前やニックネームを入力します。ここに入力した名前が、メールを送った際に相手に通知されるようになります。
次に、登録証に記載されたメールアドレスを入力します。
次に、「アカウントの種類」で[POP3]を選択し、登録証に記載された、受信サーバー、送信サーバーを入力します。
次に、登録証に記載された、アカウント名、パスワードを入力します。
最後に、「パスワードを保存する」にチェックを入れます。
すべての入力が終わったら、[詳細設定]をクリックします。

㉑ [接続]タブをクリックし、[ローカルエリアネットワークを使用する]にチェックを入れて、[ＯＫ]をクリックします。

㉒ [インターネット電子メール設定]画面で、[次へ]をクリックします

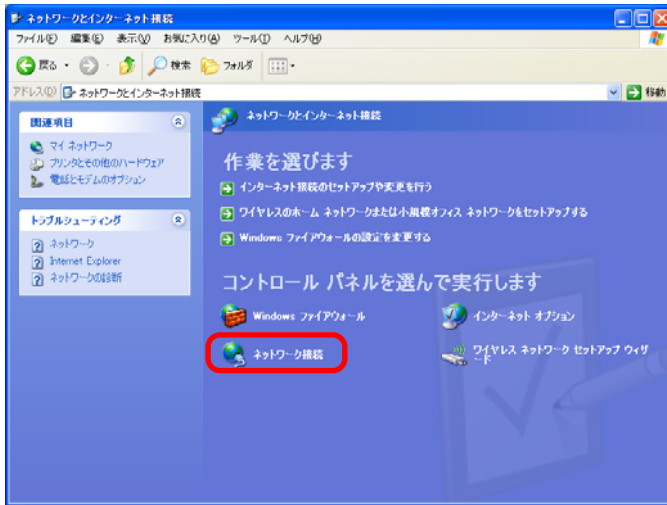
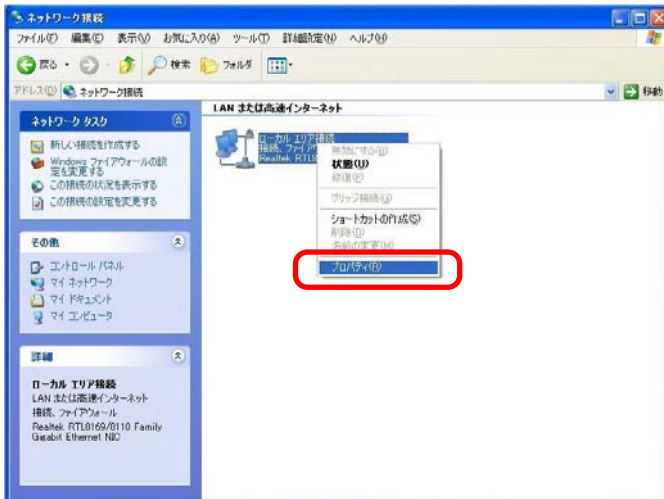
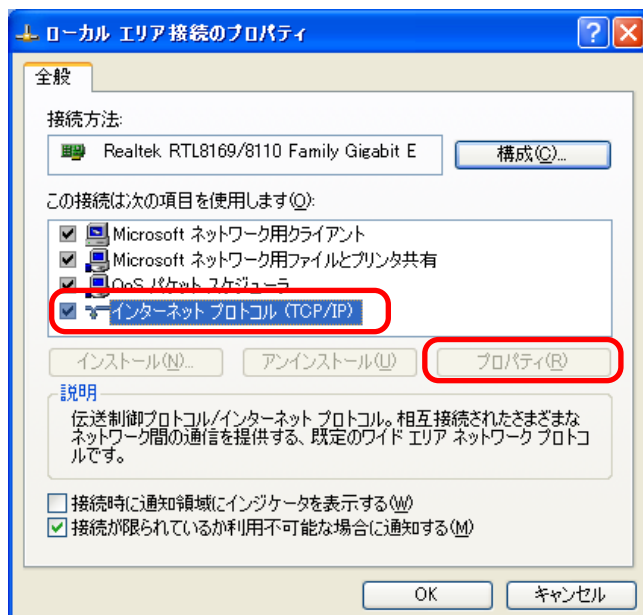
㉓ [完了]をクリックします。

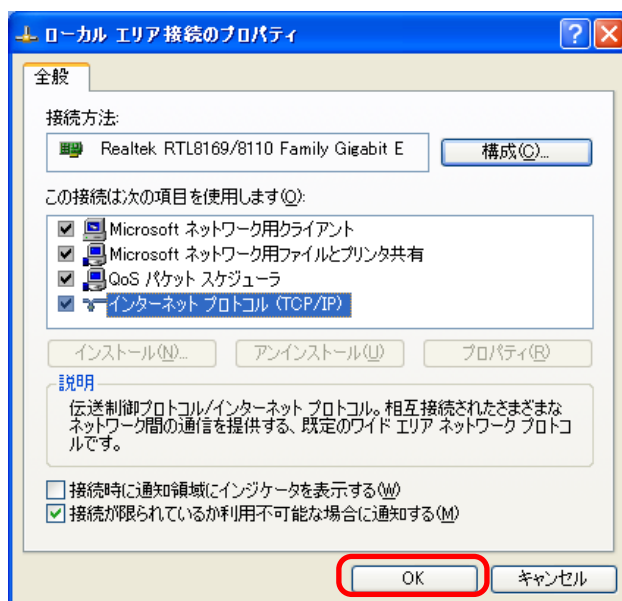
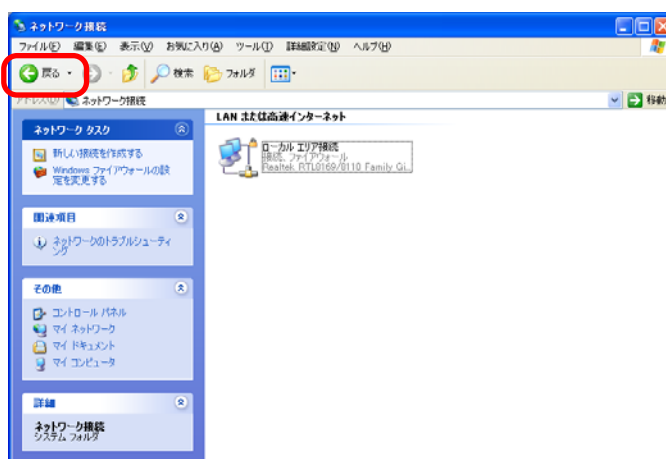
㉔[アカウント設定]画面で、[名前]の欄に、新たにメールアドレスが追加されたことを確認して、[閉じる]をクリックします。

以上で設定は完了です。

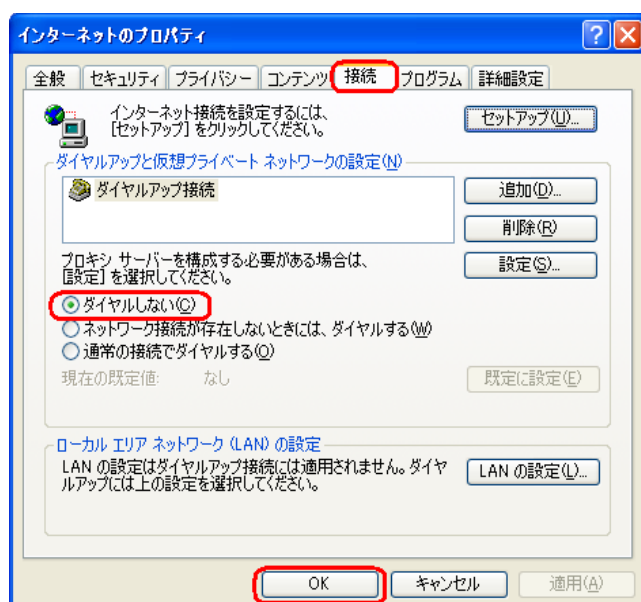
※ 自分のメールアドレス宛にメール送信をして、メールが受信できれば OK です。

＜Windows® XP インターネット接続手順＞

本説明の画面は、Windows® XPのカテゴリ表示のものです。
表示の切替については、お使いのパソコンの取扱説明書をお読みください。

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックします。

②[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

③[ネットワーク接続]をクリックします。

④[ローカルエリア接続]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

⑤[インターネット プロトコル(TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックします。

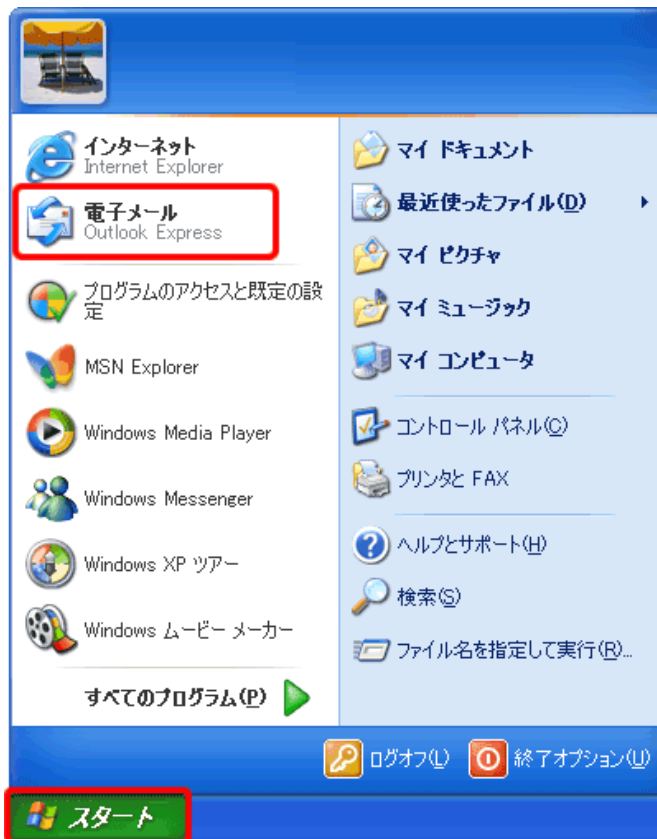
⑥[全般]タブで、[IP アドレスを自動的に取得する]と[DNS サーバのアドレスを自動的に取得する]を選択し、[OK]をクリックします。

⑦[ローカル エリア接続のプロパティ]ウィンドウに戻ります。そのまま[OK]をクリックします。

⑧エクスプローラ上の[戻る]をクリックします。

⑨[ネットワークとインターネット接続]画面の[インターネットオプション]をクリックします。

⑩[接続]タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は[ダイヤルしない]を選択し、[OK]をクリックします。

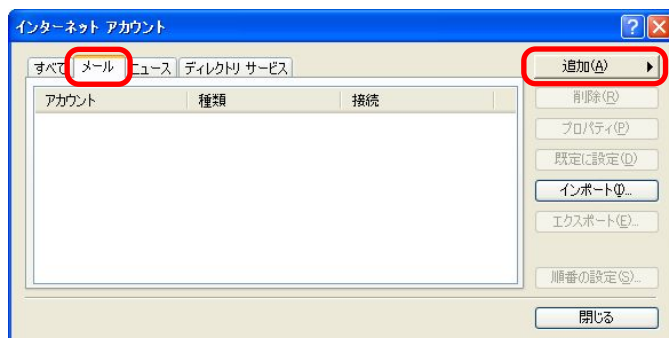
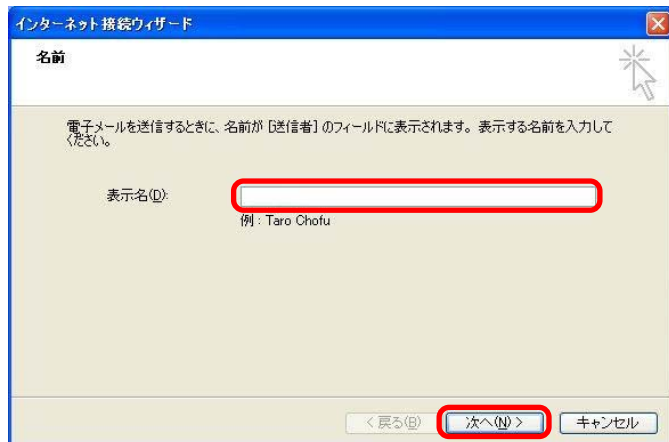
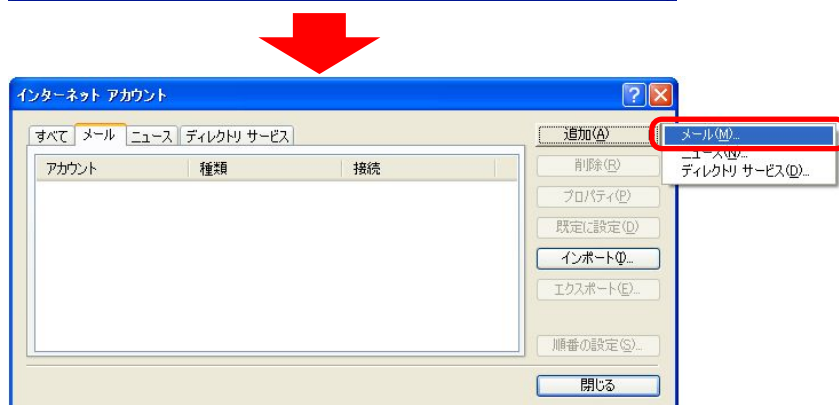
以上でインターネット接続設定は完了です。

メールの設定については、次ページ以降をご覧ください。

＜Windows® XP メール設定手順＞

・ インターネット接続設定が完了した後にメールの設定をしてください。
・ ここでは、「OutlookExpress」の設定を紹介します。
・ 「Windows Live メール」をご使用の場合は２７ページ以降を、「Outlook」をご使用の場合は３７ページ以降を参考にしてください

①[スタート]→[電子メール]をクリックします。

注） [Outlook Express]が見当たらない場合は、[スタート]をクリックし、[すべてのプログラム]→[Outlook Express]をクリックします。

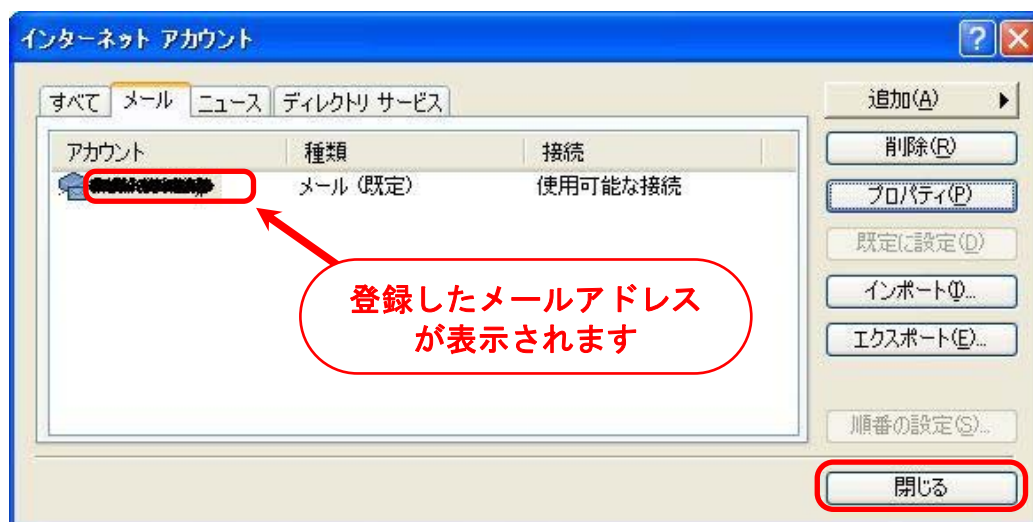
②[ツール]→[アカウント]をクリックします。

③[メール]タブをクリックし、[追加]
→[メール]をクリックします。

④表示名の欄に、名前やニックネームを入力します。ここに入力した名前が、メールを送った際に相手に通知されるようになります。
入力が終わったら、[次へ]をクリックします。

⑤登録証に記載された、メールアドレスを入力します。
入力が終わったら、[次へ]をクリックします。

⑥「受信メールサーバーの種類」で[POP3]を選択し、登録証に記載された、受信サーバー、送信サーバーを入力します。
入力が終わったら、[次へ]をクリックします。

⑦登録証に記載された、ユーザー名、パスワードを入力します。
各項目の入力が終わったら、「パスワードを保存する」にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。

⑧[完了]をクリックします。

⑨[インターネットアカウント]画面で、[名前]の欄に、新たにメールアドレスが追加されたことを確認して、[閉じる]をクリックします。

以上で設定は完了です。

※ 自分のメールアドレス宛にメール送信をして、メールが受信できれば OK です。

＜MacOS X の操作手順＞

MacOS Xのバージョンによっては、下記の図と表示が異なる場合があります。

①[アップルメニュー]→[システム環境設定]をクリックします。

②[ネットワーク]をクリックします。

③[表示]で、ご使用になるLAN アダプタ(内蔵 Ethernet など)を選択します。

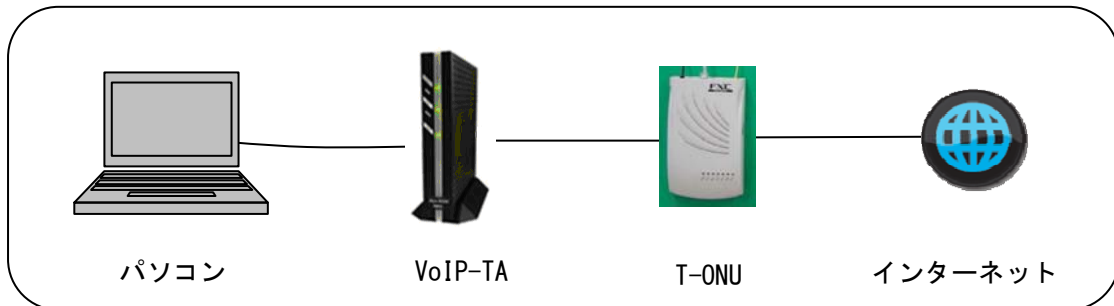
④[TCP/IP]タブの[設定]で、[DHCP サーバを参照]を選択します。

「DHCPサーバを参照」が選択できない場合は、[PPPoE]タブをクリックし、[PPPoEを使って接続する]のチェックを外してください。

⑤ネットワーク設定画面を閉じます。

以上でインターネット接続設定は完了です。

インターネットに接続しよう

インターネットに接続し、正常に接続できるか確認します。

インターネットに接続し、接続状態を確認してみましょう。

① WWWブラウザ(Internet Explorerなど)を起動します

② 外部のホームページを開きます
下のアドレスを入力してみましょう(日田市ホームページ)
http://www.city.hita.oita.jp/

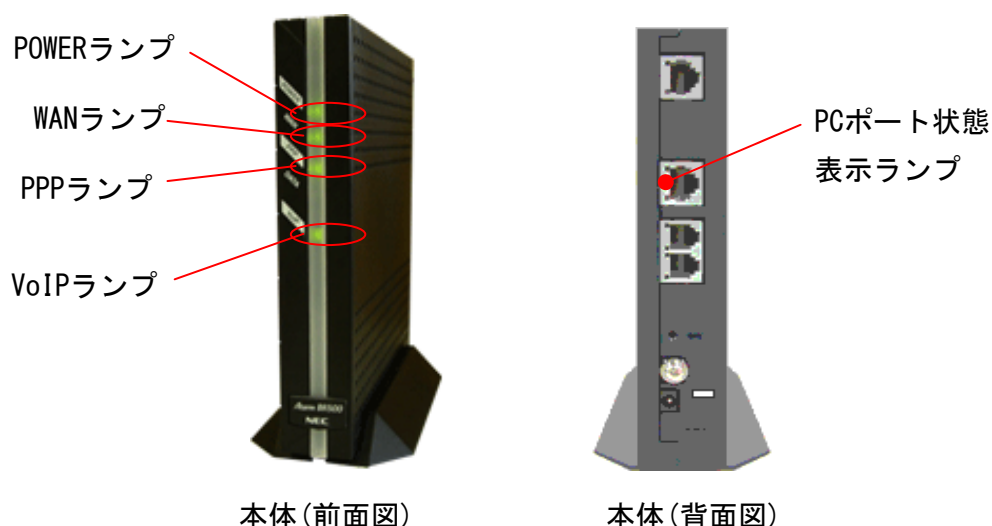
③ 日田市ホームページが表示されたら、インターネットに正常に接続できています。

・本製品の正面のLEDランプが点灯していることを確認してから、インターネットへ接続してください。

・インターネットオプションの「LANの設定」で、プロキシを使用する設定になっていると、正常にインターネットへ接続できない場合がありますので、事前に設定をOFFにしておいてください。

ＶｏＩＰ－ＴＡの状態確認

パソコンの電源を入れ、本体のランプ状態を確認します。

本体（前面図）　本体（背面図）

本体前面のPOWERランプとWANランプ、PPPランプ、VoIPランプが点灯していること、本体背面のPCポート状態表示ランプが点灯していることを確認して下さい。

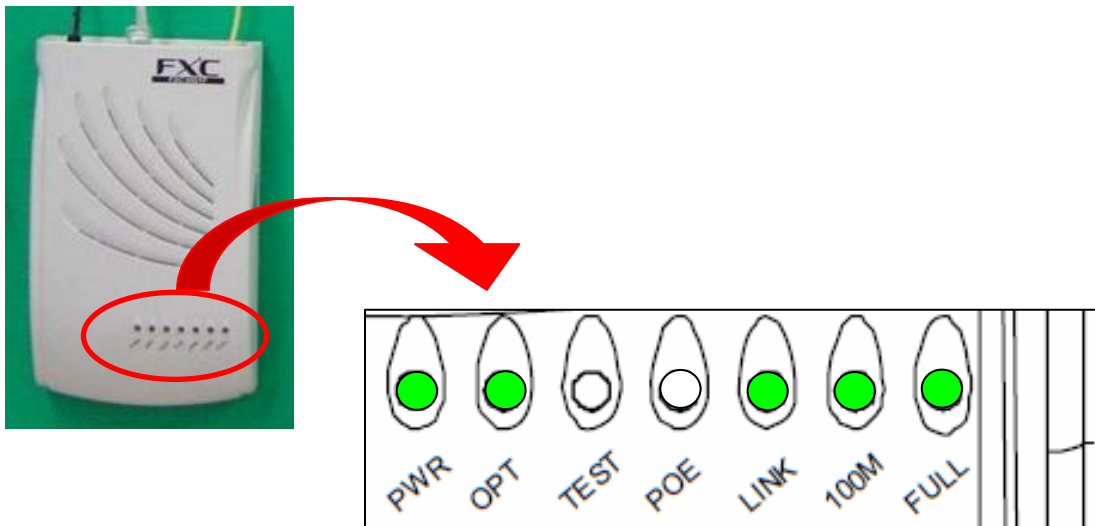
◆ランプが点灯しない場合の確認事項

POWERﾗﾝﾌﾟ	点灯しない	●AC アダプタ（電源プラグ）がコンセント又は本体背面の電源ジャックから外れていないか確認してください。
WAN ﾗﾝﾌﾟ	点灯しない	●LAN ケーブルが VoIP-TA の WAN ポートと T-ONU の両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。 ●VoIP-TA と T-ONU の両方に電源が入っているか確認してください。
PPP ﾗﾝﾌﾟ		
VoIP ﾗﾝﾌﾟ		

（注意）本体のネジを外したり、分解などは絶対に行わないでください。

Ｔ－ＯＮＵの状態確認

ＶｏＩＰ－ＴＡと接続した状態で、本体のランプ状態を確認します。

「PWR、OPT、LINK、100M、FULL」のランプが点灯しているかを確認してください。

◆ランプが点灯しない場合の確認事項

PWR ﾗﾝﾌﾟ	点灯しない	●AC アダプタ（電源プラグ）がコンセント又は本体の電源ジャックから外れていないか確認してください。
OPT ﾗﾝﾌﾟ	点灯しない	●光インドアケーブルに破損、断線が見られないか確認し、本ガイド裏面の問い合わせ先までご連絡ください。
LINK ﾗﾝﾌﾟ	点灯しない	●LAN ケーブルが VoIP-TA の WAN ポートと T-ONU の両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。 ●VoIP-TA と T-ONU の両方に電源が入っているか確認してください。
100M ﾗﾝﾌﾟ		
FULL ﾗﾝﾌﾟ		

（注意）本体のネジを外したり、分解などは絶対に行わないでください。

インターネットに関するお問い合わせ

電話　２７－５００１

ＦＡＸ　２７－５００２

メール　info@kcv.jp

KCV コミュニケーションズ株式会社

（ 日田市役所担当：情報統計課水郷テレビ情報係　22-8229 ）